

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第36週 >

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-8

< 手足口病 >

第36週の定点当たり報告数は4.1と前週よりも減少したが、依然として過去5年間の同時期の報告数を大きく上回った状態が継続している



病原体情報
P.9-10

手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2011年



速報
P.11-20

腸管出血性大腸菌感染症 2010年 / 生後3カ月以内の乳児における不明熱等患者からのパレコウイルス3型の検出 - 山口県



海外感染症情報

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話
P.21

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(36週)
P.22-27



36週のデータ
P.28-40



発生動向総覧

< 第36週コメント > 9月14日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核407例

3類感染症

細菌性赤痢14例

菌種: *S. sonnei*(D群)12例__感染地域: 山形県3例*、福島県3例*、茨城県1例、埼玉県1例、千葉県1例、国内(都道府県不明)2例、インドネシア1例

S. flexneri(B群)2例__感染地域: 東京都2例

* 同系列の外食チェーン店舗で起きた食中毒の患者を含む

腸管出血性大腸菌感染症126例(有症者76例、うちHUS 1例)

感染地域: 国内125例、韓国1例

国内の多い感染地域: 大阪府15例*、新潟県9例、宮城県8例、東京都7例、広島県6例、大分県6例、千葉県5例

* バーベキューによる食中毒の患者を含む

年齢群: 0歳(1例)、1歳(6例)、2歳(1例)、3歳(6例)、4歳(5例)、5歳(3例)、6歳(5例)、7歳(5例)、8歳(1例)、9歳(2例)、10代(24例)、20代(13例)、30代(18例)、40代(8例)、50代(10例)、60代(9例)、70代(2例)、80代(7例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(59例)、O157 VT2(18例)、O26 VT1(14例)、O26 VT1・VT2(4例)、O157 VT不明(4例)、O55 VT1(3例)、O111 VT1・VT2(3例)、O115 VT1(3例)、O145 VT2(3例)、O121 VT2(2例)、O20 VT1・VT2(1例)、O74 VT2(1例)、O86a VT2(1例)、O103 VT1(1例)、O103 VT不明(1例)、O145 VT1(1例)、その他・不明(7例)

累積報告数: 2,950例(有症者2,048例、うちHUS 84例、死亡13例)

4類感染症

A型肝炎1例

感染地域: フィリピン

つつが虫病1例

感染地域: 新潟県

デング熱2例

感染地域: インドネシア1例、ベトナム1例

日本紅斑熱4例

感染地域: 三重県1例、和歌山県1例、愛媛県1例、佐賀県1例

日本脳炎1例 年齢群 : 10代
 感染地域 : 福岡県

レジオネラ症14例(肺炎型14例 .うち1例死亡)
 感染地域 : 千葉県2例、東京都2例、埼玉県1例、神奈川県1例、新潟県1例、長野県1例、兵庫県1例、山口県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)3例
 年齢群 : 50代(6例)、60代(2例)、70代(4例)、80代(2例)

レプトスピラ症2例 感染地域 : 高知県1例、宮崎県1例__感染源 : 水田1例、池/水田1例

5類感染症

アメーバ赤痢13例(腸管アメーバ症11例、腸管外アメーバ症2例)
 感染地域 : 東京都2例、千葉県1例、大阪府1例、兵庫県1例、香川県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)5例、ベトナム1例
 感染経路 : 性的接触2例(異性間1例、異性間・同性間不明1例)、経口感染1例、経口感染/性的接触(異性間・同性間不明)1例、その他・不明9例

ウイルス性肝炎2例 B型2例__感染経路 : 不明2例

急性脳炎1例 病原体不明__年齢群 : 5歳

クロイツフェルト・ヤコブ病4例
 孤発性プリオン病古典型4例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例
 年齢群 : 70代(死亡)

後天性免疫不全症候群7例(AIDS 2例、無症候5例)
 感染地域 : 国内6例、国内・国外不明1例
 感染経路 : 性的接触6例(異性間2例、同性間3例、異性/同性間1例)、不明1例

ジアルジア症1例 感染地域 : 国内(都道府県不明)

梅毒13例(早期顕症I期3例、早期顕症II期4例、晩期顕性1例、無症候5例)

破傷風1例 年齢群 : 90代

バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例
 遺伝子型 : Van B 1例__菌検出検体 : 胆汁
 遺伝子型 : 不明1例__菌検出検体 : 血液

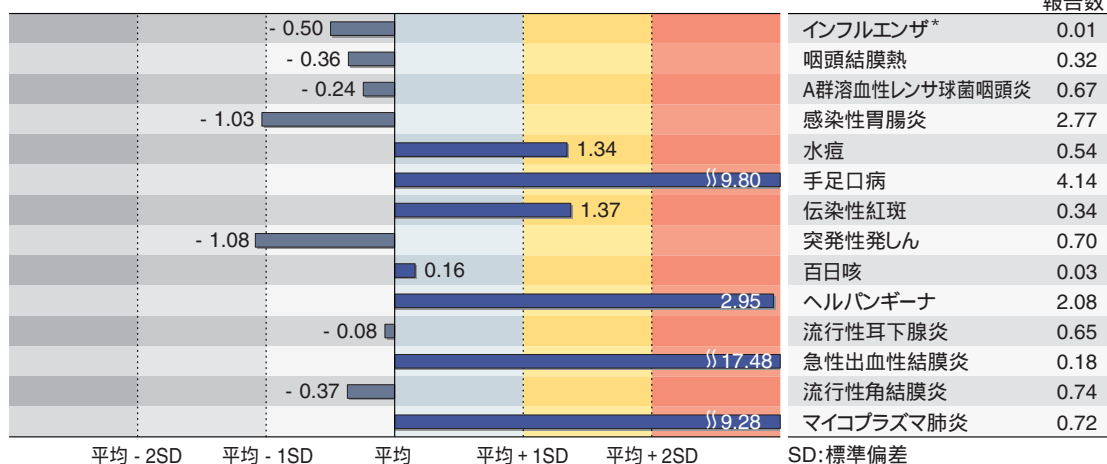
麻しん2例〔麻しん(検査診断例1例)、修飾麻しん(検査診断例1例)〕
 感染地域 : 国内1例、マレーシア1例
 国内の感染地域 : 三重県
 年齢群 : 0歳(1例)、20 ~ 24歳(1例)
 累積報告数 : 392例〔麻しん(検査診断例186例、臨床診断例114例)、修飾麻しん(検査診断例92例)〕

(補) 2011年第35週までに診断されたものの報告遅れとして、デング熱2例(感染地域 : インドネシア1例、インド/ネパール1例)、日本紅斑熱2例(感染地域 : 長崎県1例、熊本県1例)、急性脳炎1例(病原体不明(0歳))などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第36週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は微増した。都道府県別では沖縄県(0.45)、福島県(0.03)、茨城県(0.03)、鳥取県(0.03)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,321例と第30週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いている。都道府県別では高知県(1.00)、長野県(0.91)、三重県(0.91)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では長野県(1.46)、福井県(1.45)、富山県(1.34)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第33週以降増加が続いている。都道府県別では大分県(5.4)、福井県(5.0)、福岡県(4.7)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では佐賀県(1.48)、長崎県(1.20)、愛媛県(1.14)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では秋田県(14.3)、青森県(10.9)、岩手県(10.8)、宮城県(10.6)、島根県(10.6)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福島県(1.00)、徳島県(0.91)、愛知県(0.81)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では和歌山県(0.13)、広島県(0.13)、鳥取県(0.11)が多い。

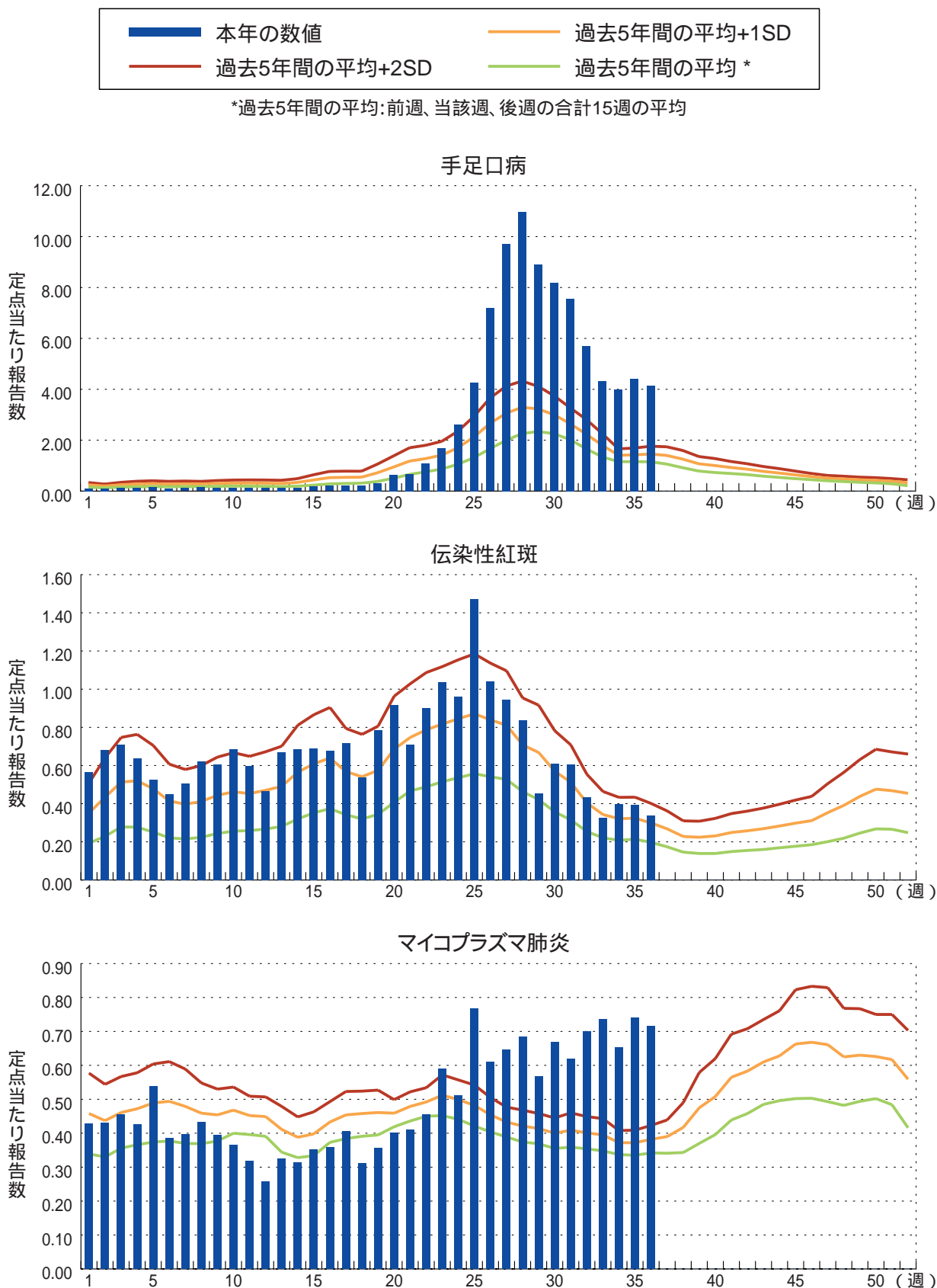
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山形県(12.0)、新潟県(9.6)、長野県(6.6)、福島県(5.8)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では愛媛県(2.70)、鹿児島県(1.82)、長野県(1.78)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県(2.40)、沖縄県(2.29)、埼玉県(2.22)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2011年第36週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

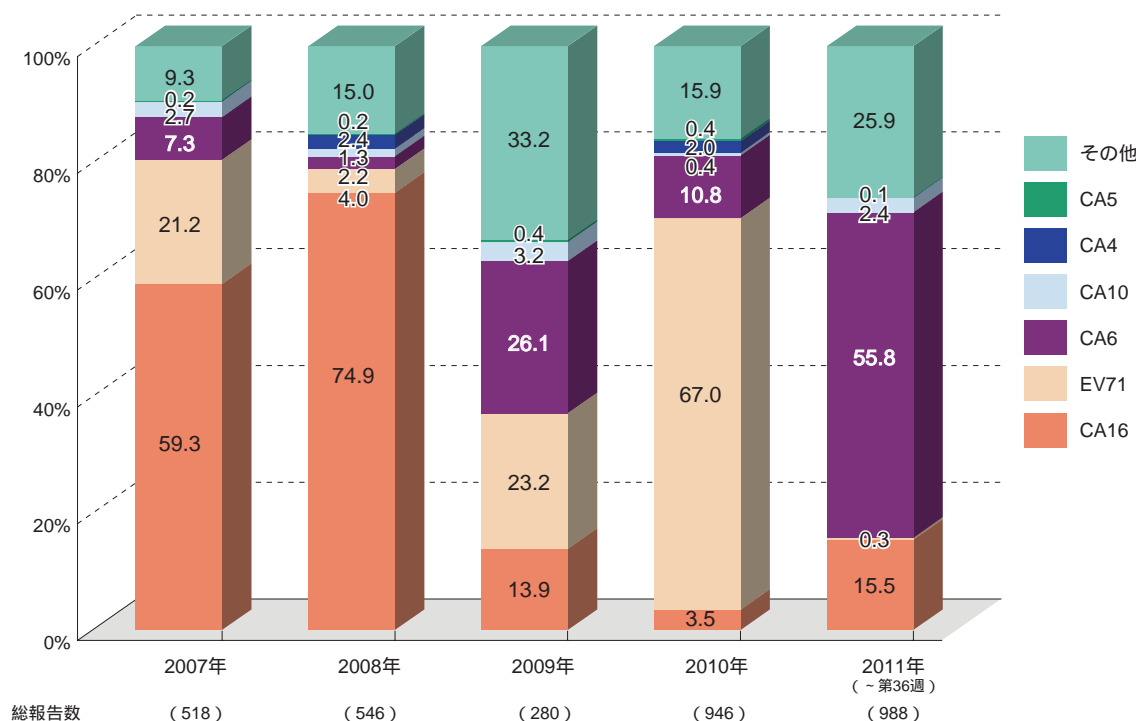
手足口病

手足口病(hand, foot, and mouth disease : HFMD)は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患である。基本的には数日間の内に治癒する予後良好の疾患であるとされている。しかし稀ではあるが、髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を呈することが以前より知られている。

手足口病の感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染であり、保育園や幼稚園などの乳幼児の集団生活施設においての感染予防は手洗いの励行と排泄物の適正な処理が基本となる。手足口病の病原ウイルスに感染しても全員が典型的な症状を呈するものではなく、不顕性感染例も存在することから、発症して診断された者を隔離しても効果的な対策とはならないと考えるべきである。また、主要症状が回復した後も比較的長期間に渡って児の便などからウイルスが排泄されることがあるが、基本的には軽症疾患であることを踏まえ、回復した児に対して長期間の欠席を求めることは現実的ではない。

手足口病の病原ウイルスは主にコクサッキーA16(CA16)、エンテロウイルス71(EV71)であり、その他CA6、CA9やCA10などのエンテロウイルスによっても発症する。2011年の手足口病の流行で患者から最も多く検出されているのはコクサッキーA6(CA6)であり、検出報告988件(2011年9月15日現在)中、CA6が551件(55.8%)と半数以上を占めている(図1)。本年の手足口病の臨

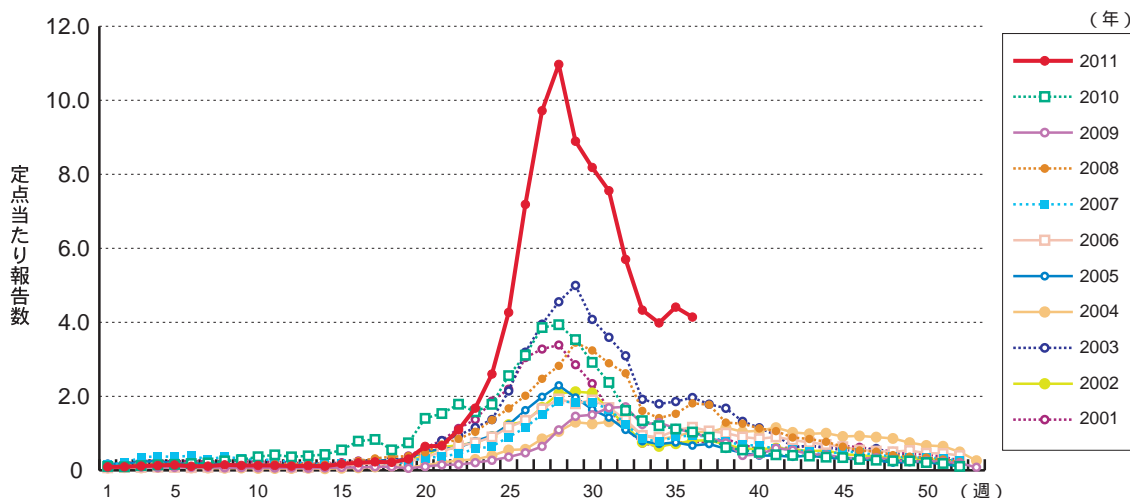
図1. 手足口病由来ウイルス分離・検出報告割合(2007 ~ 2011年第36週)



床的特徴としては、発症初期に高熱を発することが少なくなく、昨年までみられていた典型的な発症例と比べて発疹が大きく、四肢末端に限局せずに広範囲に認められる症例が目立つといった情報が寄せられている。また、CA6の感染によって発症した手足口病では、治癒してから数週間経過した後に、爪甲が爪床から浮き上がって剥離・脱落する症例(爪甲脱落症)が少なからず存在することが以前よりヨーロッパ等で指摘されており(http://wwwnc.cdc.gov/eid/article/15/9/09-0438_article.htm) 本年の国内の手足口病発症例においても、治癒後の爪甲が剥離・脱落する例が認められつつある。

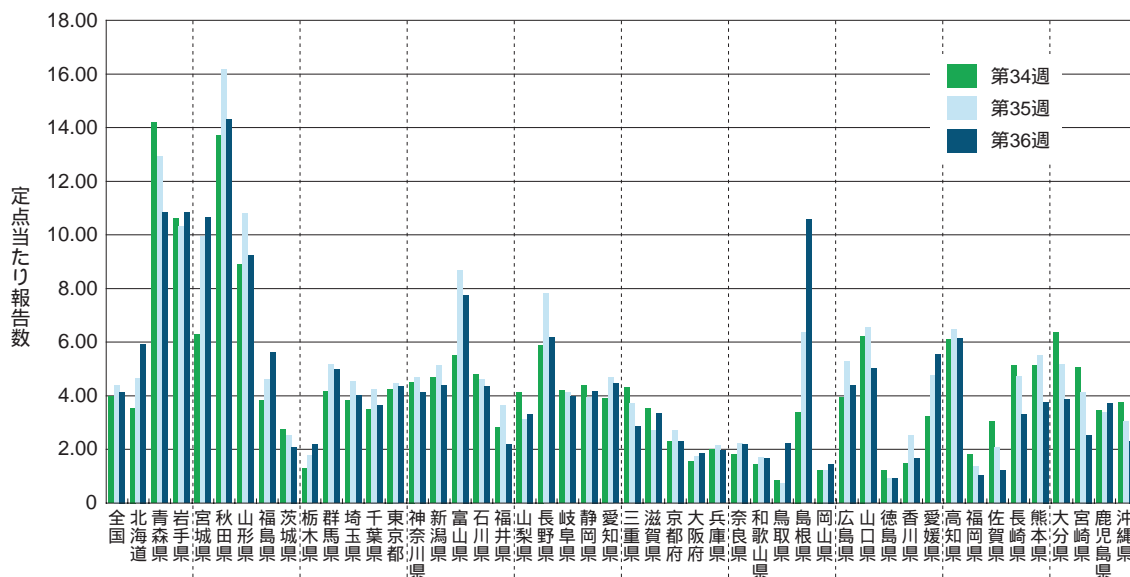
感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいて手足口病をはじめとする各種小児科疾患の発生動向を分析している。2011年第36週の手足口病の定点当たり報告数は4.1(報告数12,974)と前週(定点当たり報告数4.4)よりも減少したが、依然として過去5年間の同時期の報告数を大きく上回った状態が継続している(図2)。都道府県別では秋

図2. 手足口病の年別・週別発生状況(2001 ~ 2011年第36週)



田県(14.3)、青森県(10.9)、岩手県(10.8)、宮城県(10.6)、島根県(10.6)、山形県(9.2)、富山県(7.8)、長野県(6.2)の順となっている。第29週以降、手足口病の報告数は減少傾向にあるが、東北地方や北海道ではまだ増加傾向を示している地域が少なからず認められており、第27週以降は減少が続いていた島根県でも第33週以降再び急激な増加がみられている(図3)。2011年第1～36週の定点当たり累積報告数は89.0(累積報告数278,522)であり、年齢群別では0～1歳の報告割合が38.0%、2～3歳が34.9%と3歳までで全報告数の70%以上を占めている。

図3. 手足口病の都道府県別定点当たり報告数の推移(2011年第34～36週)



2011年の手足口病の流行は第28週にピークとなり、その後は減少傾向を示しているものの、まだこれまでの同時期と比較してかなり患者報告数が多い状態が続いており、増加傾向を示している地域も少なからず存在している。今後とも手足口病の発生動向には注意深い観察が必要であることに加えて、手足口病治癒後の爪甲脱落症の発生にも注意すべきである。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2011年9月15日現在報告分)

手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2011年

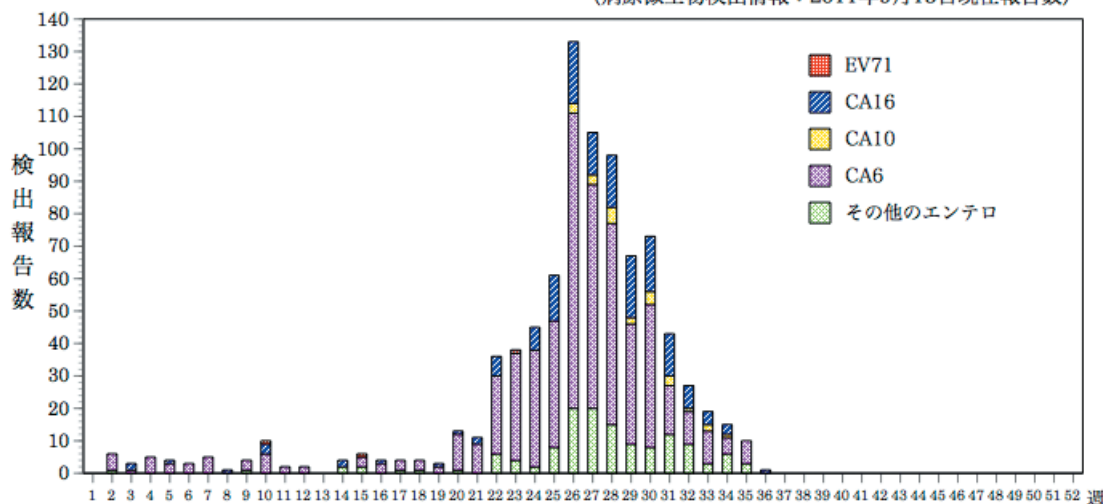
エンテロウイルス71型(EV71)は熊本県から第10週、第15週、第23週に各1件が報告されている。

A群コクサッキーウイルス(CA)16型は第3～36週に山形県25件、岩手県22件、福岡県16件、佐賀県15件、大阪府14件、大分県10件、香川県7件、神奈川県、愛知県、兵庫県各6件、島根県、山口県各5件など153件の検出が報告されている。

その他のCAではCA6が第2～35週に大阪府77件、兵庫県56件、高知県53件、和歌山県52件、島根県39件、長野県35件、神奈川県27件、京都府23件、富山県18件、大分県15件、岡山県、福岡県各13件、愛知県、山口県、徳島県各11件、広島県10件、栃木県、千葉県、奈良県、愛媛県、佐賀県各8件、福井県、静岡県、宮崎県各7件、三重県6件など551件、CA10が第26～34週に秋田県、栃木県、長野県各4件、岩手県3件、島根県、福岡県各2件、群馬県、千葉県、神奈川県、新潟県、京都府各1件、計24件報告されている。

週別手足口病患者からのエンテロウイルス分離・検出報告数、2011年

(病原微生物検出情報：2011年9月15日現在報告数)

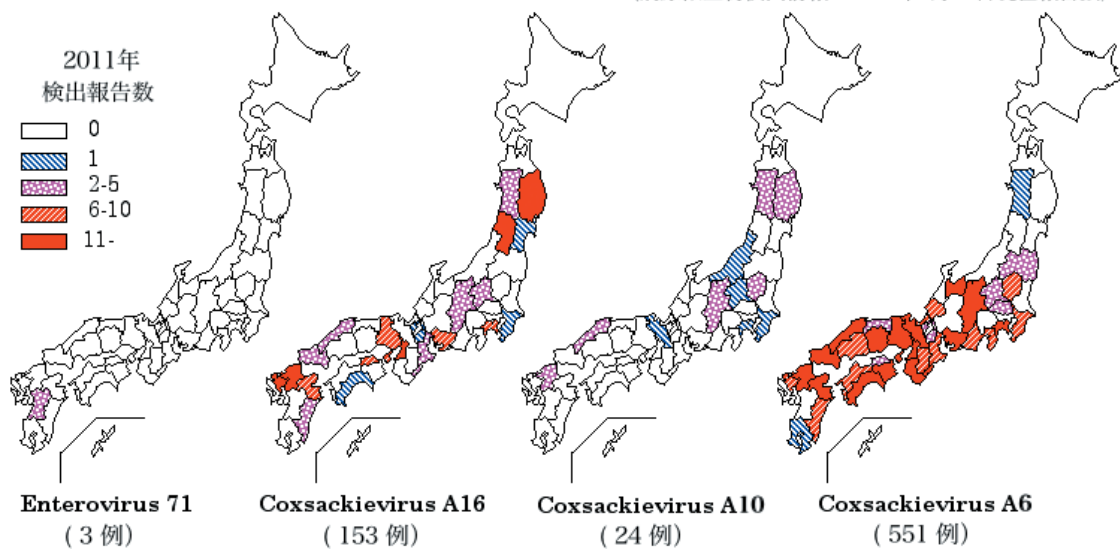


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



都道府県別手足口病患者からのエンテロウイルス71型、コクサッキーウイルスA16型、
コクサッキーウイルスA10型、コクサッキーウイルスA6型分離・検出報告状況、2011年

(病原微生物検出情報：2011年9月15日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



腸管出血性大腸菌感染症 2010年 (2011年7月29日現在)

腸管出血性大腸菌感染症は、感染症法に基づく3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の報告が診断した全ての医師に義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。腸管出血性大腸菌感染症の報告は1996年8月6日に伝染病予防法のもとで指定伝染病に規定された時に始まっているが、以下においては、1999年4月の感染症法施行以降の報告の範囲で記述する。

年次推移(図1)

2010年の年間報告数(診断週が2010年第1～52週のもので、2011年7月29日までに報告されたもの)は4,134例であった。2000～2009年の年間累積報告数(2000年3,648例、2001年4,435例、2002年3,183例、2003年2,999例、2004年3,764例、2005年3,589例、2006年3,922例、2007年4,617例、2008年4,321例、2009年3,889例)と比較すると、2007年、2001年、2008年に次いで4番目に多かった。4,134例のうち有症状者は2,719例であり、65.8%を占めた。

図1-1. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・症状別発生状況(1999年4月～2010年)

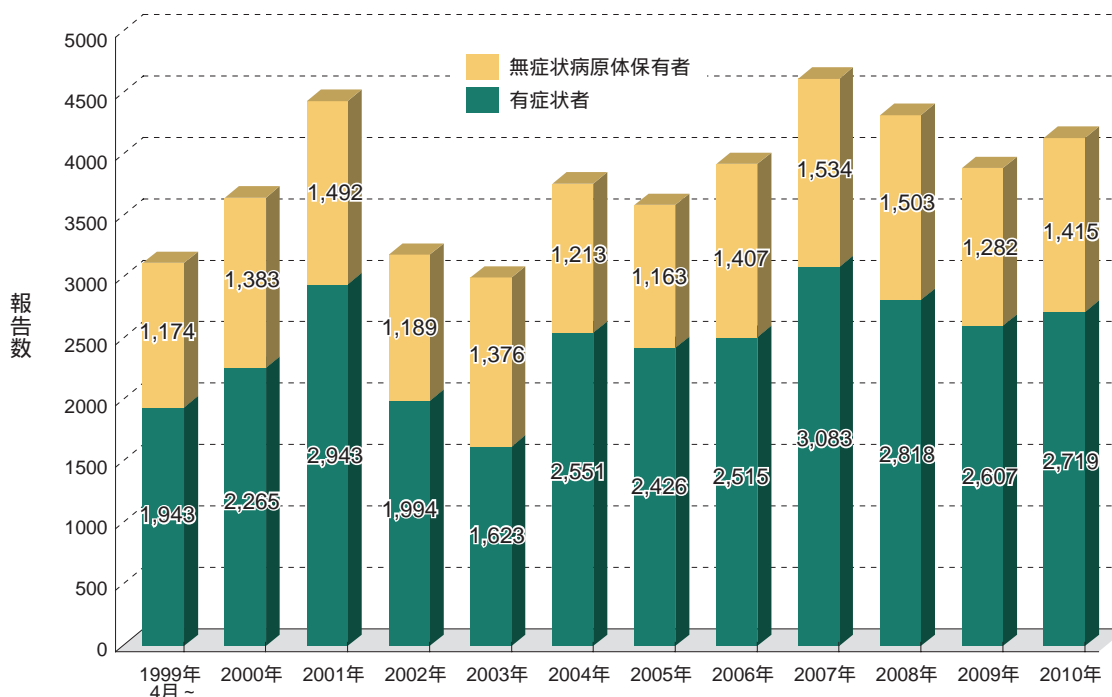
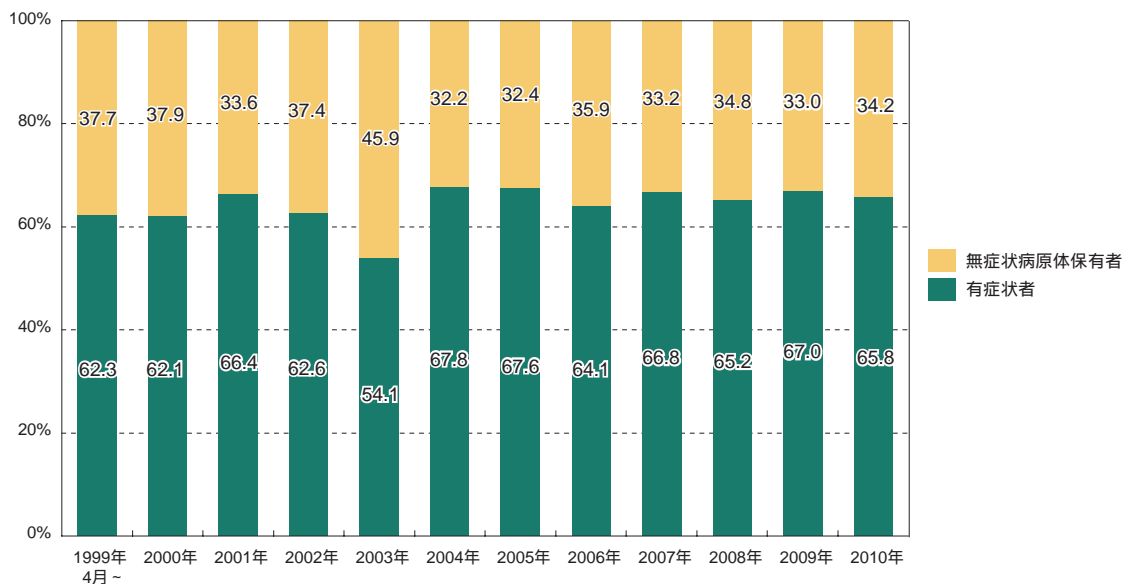


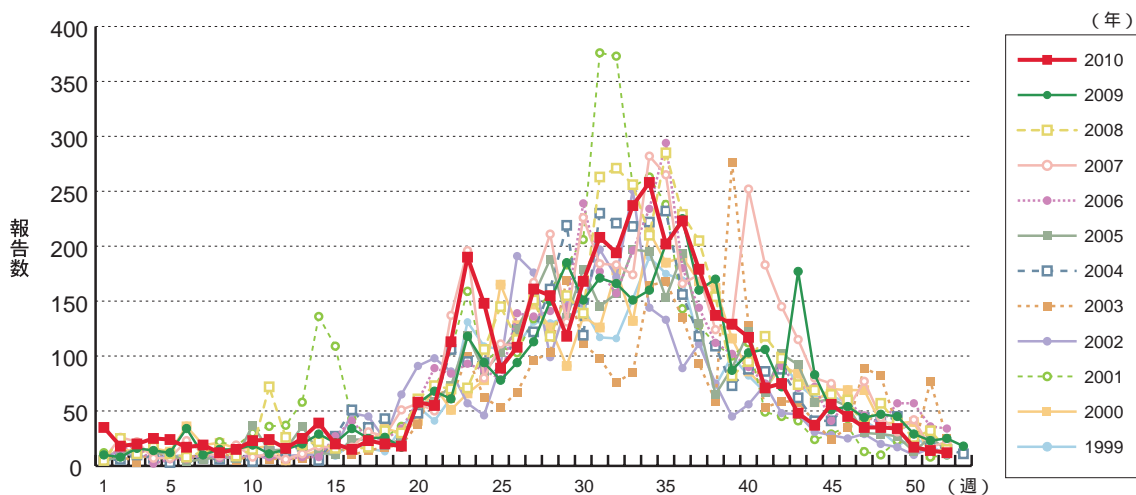
図1-2. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・有症状者割合(1999年4月 ~ 2010年)



週別推移(季節性)(図2)

例年、報告数の最大のピークは夏季にみられ、2010年においても8月をピークとして、7月中旬から9月中旬にかけて報告数が多かった。なお、6月上旬(第22 ~ 24週)にみられた報告数の増加は、三重県の中学・高校(同系列)で大規模な食中毒(189例)が発生したことによるものである。

図2. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(1999年第14週 ~ 2010年)

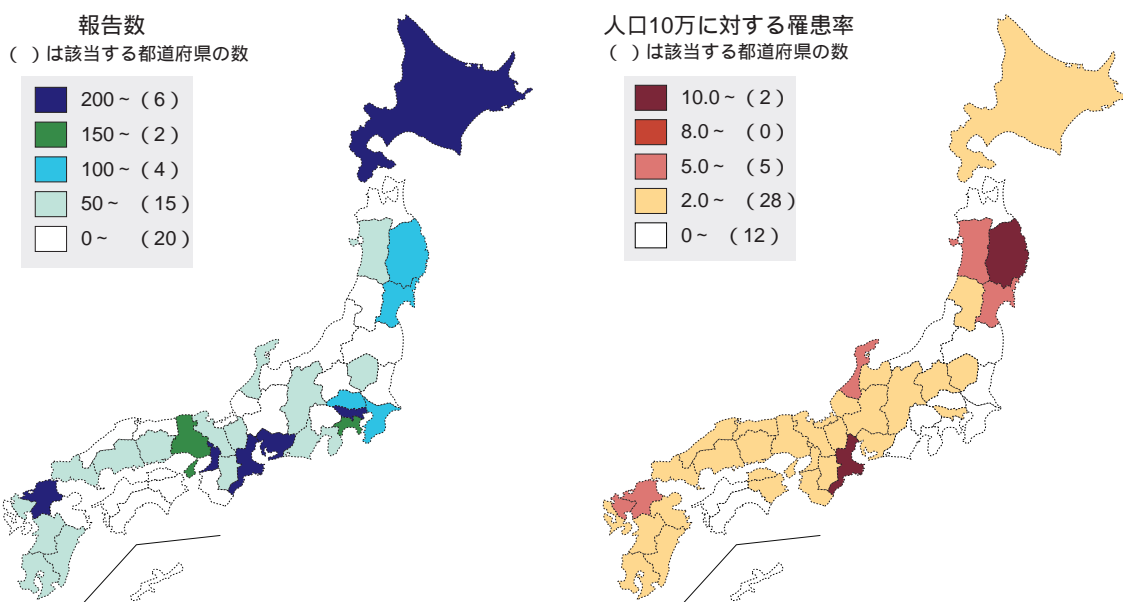


都道府県(報告地であり、必ずしも感染した都道府県を示すものではない)(図3)

都道府県別にみると、三重県(350例)、東京都(339例)、福岡県(314例)、大阪府(258例)、愛知県(237例)、北海道(201例)、兵庫県(188例)の順に多く、12の都道府県で年間累積報告数が100例を超えた。人口10万人当たりの罹患率でみると、三重県(18.9:報告数350例)、岩手県(10.2:報告数136例)、佐賀県(6.4:報告数54例)、秋田県(6.4:報告数69例)、福岡県(6.2:報告数314例)の順に多かった。

図3. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告数と罹患率(2010年)

「総務省統計局推計人口(2011年2月25日公表データ)使用」



感染地域(確定または推定として報告されている)

感染地域を国内とするものが4,093例(99.0%)、国外とするものが30例(0.7%)、不明が11例(0.3%)であった。

国内の感染地域詳細として4,093例について内訳をみると、三重県(356例)、福岡県(271例)、大阪府(214例)、東京都(207例)、愛知県(203例)、北海道(195例)、兵庫県(151例)、岩手県(133例)が多かった。国内感染での比較的大きな集団発生事例としては、三重県の中学・高校(同系列)で起きた食中毒(189例:第22～24週)、三重県の福祉施設関連(38例:第35～37週)、長野県の親水施設および保育施設関連(31例:第30～35週)、北海道の施設関連(28例:第12～14週)、福岡県の保育施設関連(27例:第23～24週)、栃木県の夏祭り関連(22例:第32～34週)などがあった。

国外の感染国の内訳は、韓国9例、中国3例、インドネシア、ベトナム、トルコ、ブラジル各2例、インド、エジプト、エチオピア、ケニア、スペイン、米国(本土)、ハワイ、ニューカレドニア、ミクロネシア、タイ/ベトナム各1例であった。

性・年齢(図4、図5)

性別では男性1,911例(うち有症状者1,295例、67.8%)、女性2,223例(うち有症状者1,424例、64.1%)で、年齢は0 ~ 100歳(中央値20歳)であった。年齢群別にみると、10歳未満1,279例(0 ~ 4歳775例、5 ~ 9歳504例)、10代721例、20代635例、30代493例、40代245例、50代279例、60代222例、70代152例、80代88例、90代以上20例であった。20歳未満では男性がやや多いが、20歳以上では女性が多くなっており、年齢中央値は男性17歳、女性24歳で従来と同様の性差が認められた(例、2009年男性15歳、女性23歳)。症状別でみると、男女とも30代、40代、50代で無症状病原体保有者が多かった。有症状者の占める割合は10歳未満80.5%、70代以上75.4%、10代73.6%、20代63.6%、60代57.7%の順に大きかった。

図4. 腸管出血性大腸菌感染症の年齢群別割合(2010年)

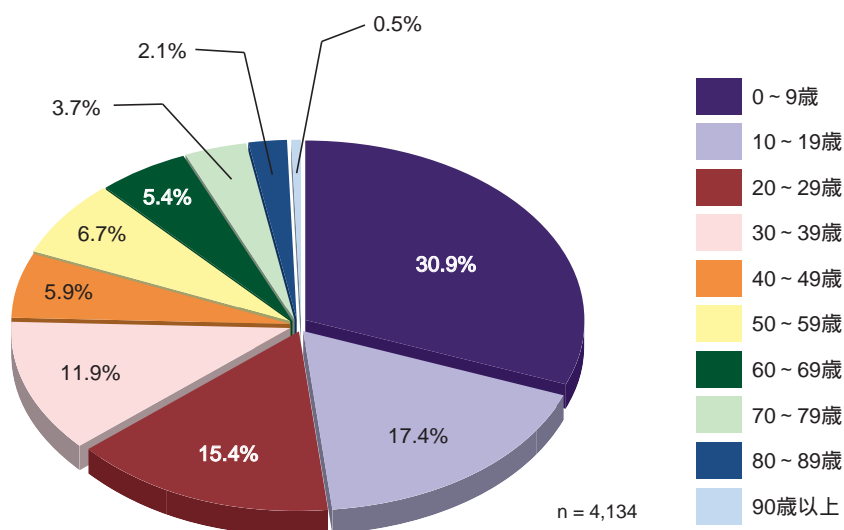
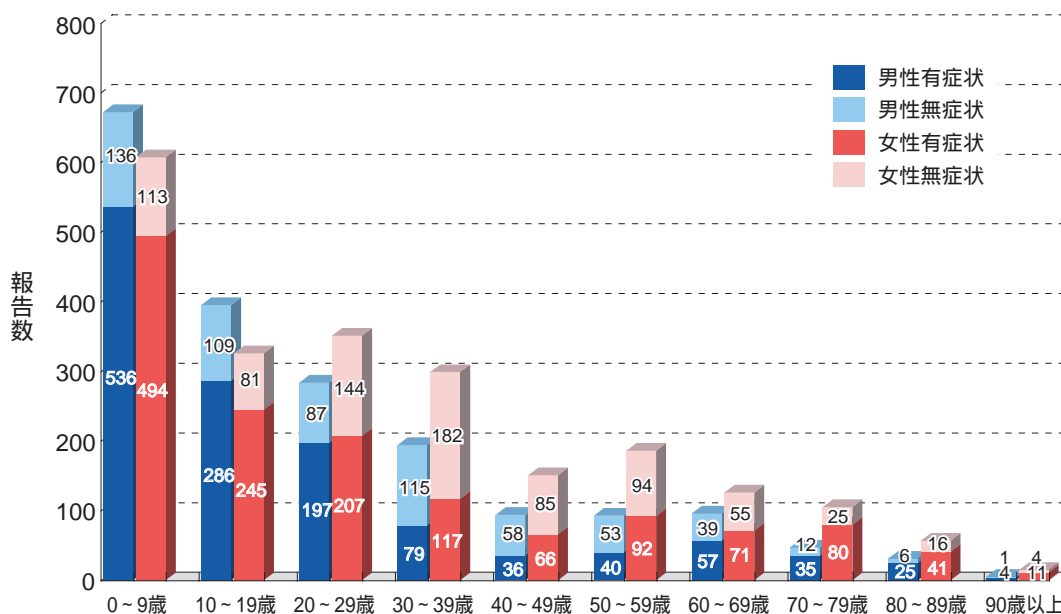


図5. 腸管出血性大腸菌の性別・年齢群別・症状の有無別報告数(2010年)



感染経路・感染源(確定または推定として報告されている)

4,134例の感染経路は、経口感染1,804例(43.6%)、接触感染626例(15.1%)、経口または接触感染91例(2.2%)、動物・蚊・昆虫等(以下動物等)からの感染11例(0.3%)、経口または接触または動物等からの感染6例(0.1%)、経口または動物等からの感染3例(0.1%)、接触または動物等からの感染1例(0.02%)、その他20例(0.5%)、不明・記載なしが1,572例(38.0%)であった。その他としては、職場の定期検便・健康診断9例、実験室内感染1例などが報告されていた。経口感染とされた1,904例(複数の感染経路での報告を含む)のうち、肉類の喫食が記載されていたものは598例あった。598例のうち、289例は生肉(加熱不十分の肉を含む)を喫食しており、その種類として生レバー・レバ刺しが156例と多かった。

O血清群・毒素型(表1)

4,134例のO血清群は、O157 2,885例(69.8%)、O26 581例(14.1%)、O103 105例(2.5%)、O111 89例(2.2%)、O91 78例(1.9%)の順に多く、O157、O26に次いで昨年はO121が多かったが、本年はO103が3番目に多い血清群であった。毒素型も加えると、O157 VT1・VT2 1,683例(うち有症状者73.8%)、O157 VT2 943例(うち有症状者59.6%)、O26 VT1 520例(うち有症状者57.7%)の順であり、これは従来と同様であった。集団発生事例は、三重県で中学・高校(同系列)や福祉施設内でのO157集団感染(食中毒を含む)、複数の自治体で保育施設内におけるO26集団感染など、10例以上の感染者(無症状病原体保有者を含む)が報告されたものが13事例あった³⁾。この他にも、愛知県で牛生レバーを原因とするO157の食中毒が複数事例⁴⁾報告されている。

表1. 腸管出血性大腸菌感染症の報告症例における原因菌の血清群と毒素型(2010年)

O血清群	毒素型	有症状者 (国外感染再掲)	無症状病原体保有者 (国外感染再掲)	合計 (国外感染再掲)
O157	VT1	98	39 (1)	137 (1)
	VT2	562 (5)	381 (3)	943 (8)
	VT1・VT2	1,242 (6)	441 (4)	1,683 (10)
	VT不明	108 (2)	14	122 (2)
	小計	2,010 (13)	875 (8)	2,885 (21)
O26	VT1	300 (3)	220 (1)	520 (4)
	VT2	1	0	1
	VT1・VT2	28	16	44
	VT不明	15	1	16
	小計	344 (3)	237 (1)	581 (4)
O103	VT1	50 (1)	50	100 (1)
	VT1・VT2	0	1	1
	VT不明	3	1	4
	小計	53 (1)	52	105 (1)
O111	VT1	33 (1)	22	55 (1)
	VT1・VT2	20	11	31
	VT不明	3	0	3
	小計	56 (1)	33	89 (1)
O91	VT1	13	58	71
	VT2	1	1	2
	VT1・VT2	0	3	3
	VT不明	0	2	2
	小計	14	64	78
O145	VT1	9	5	14
	VT2	33	11	44
	VT1・VT2	5	1	6
	VT不明	2	0	2
	小計	49	17	66

O121	VT1	0	1	1
	VT2	44	13	57
	VT不明	2	0	2
	小計	46	14	60
O165	VT2	10	0	10
	VT1・VT2	5	0	5
	VT不明	2	0	2
	小計	17	0	17
O146	VT1	0	2	2
	VT2	0	3	3
	VT1・VT2	0	7	7
	小計	0	12	12
その他	O2 VT2	0	1	1
	O6 VT2	0	1	1
	O8 VT2	0	2	2
	O8 VT1・VT2	0	1	1
	O15 VT1	1	1	2
	O25 VT2	0	1	1
	O38 VT1	0	1	1
	O39 VT2	2	0	2
	O55 VT1	2	3	5
	O63 VT2	2	0	2
	O74 VT2	2	0	2
	O74 VT1・VT2	0	1	1
	O86a VT1	0	1	1
	O110 VT2	0	1	1
	O115 VT1	3	2	5
	O118 VT1	1	0	1
	O119 VT1	1	1	2
	O124 VT1	2	0	2
	O124 VT2	0	1	1
	O126 VT不明	1	0	1
	O128 VT1	1	1	2
	O128 VT2	0	1	1
	O128 VT1・VT2	0	3	3
	O128 VT不明	2	0	2
	O140 VT1	1	0	1
	O153 VT2	1	0	1
	O156 VT1	0	2	2
	O164 VT1	1	0	1
	O166 VT2	0	1	1
	O168 VT2	0	1	1
	O177 VT2	1	0	1
	OUT VT1	0	4	4
	OUT VT2	0	4	4
OUT VT1・VT2	0	1	1	
不明 VT1	21 (1)	30	51 (1)	
不明 VT2	25	27 (1)	52 (1)	
不明 VT1・VT2	19 (1)	12	31 (1)	
不明 VT不明	38	2	40	
小計	127 (2)	107 (1)	234 (3)	
複数検出	O157 VT1・VT2 + O157 VT2	1	1	2
	O157 VT2 + O121 VT2	0	1	1
	O157 VT1・VT2 + O25 VT1	1	0	1
	O157 VT1・VT2 + O26 VT1	1	0	1
	O111 VT1・VT2 + O26 VT1	0	1	1
	O143 VT1 + O不明 VT2	0	1	1
	小計	3	4	7
総計	2,719 (20)	1,415 (10)	4,134 (30)	

重症例・死亡例(図6、表2、表3)

2006年の4月(第13週～)から溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例に限り、菌が分離されなくても、便からのVero毒素(VT)検出、あるいは血清におけるO抗原凝集抗体または抗VT抗体検出によって診断されたものが、届出の対象となった。同時に届出様式が変更され、それまで任意記載であった臨床症状の報告は、主な症状が選択式となり、急性腎不全、痙攣、昏睡、脳症などが選択項目となり、これらの症状も把握されやすくなった。

HUSは92例が報告され、有症状者の3.4%が発症していた。2006～2009年の年間報告数(102、129、94、83例)および有症状者での発症率(4.1、4.2、3.3、3.2%)と比較し、2008年と同様であった。性別では男性36例、女性56例であった。年齢は0～91歳(中央値5歳)で、年齢群別では0～4歳が45例(有症状者の7.2%)と最も多く、5～9歳15例(同3.7%)、10～14歳6例(同2.4%)、15～64歳13例(同1.1%)、65歳以上13例(同4.9%)であった。例年、HUS発症例は10歳未満の小児に多くみられているが、有症状者に占めるHUS発症率でみると、2010年は0～4歳の年齢群が7.2%で最も高く、次いで高かったのは65歳以上の年齢群(4.9%)であった。HUS発症例の診断方法は、菌分離が62例(67.4%)、菌は分離されなかったが血清でのO抗原凝集抗体検出が28例(30.4%)で、便から直接のVT検出が2例(2.2%)であった。菌が分離された62例の血清群・毒素型をみると、O157 VT1・VT2 31例、O157 VT2 18例などO157が計55例で全体の88.7%を占め、他にO121 VT2が2例、O26 VT1が1例、O111 VT1・VT2が1例、O145 VT2が1例、O不明 VT1・VT2が1例、O不明 VT不明が1例であった。また、O抗原凝集抗体の検出により診断された28例のうち、確認できた範囲では19例がO157、1例はO165であった。HUSを発症した92例中8例(0～4歳4例、15～64歳2例、65歳以上2例)では脳症も報告されており、他にHUS未発症で脳症発症が報告されていた患者も1例(80代)いた。

死亡例の把握は届出時点で記載されていたか、または届出後に任意に追加報告されたものに限られるが、5例みられており、内訳は2歳男性(O157 VT1・VT2、HUS)、60代女性(O157 VT不明、HUS)、70代男性(O不明 VT不明、HUS)、70代女性(O157 VT1・VT2)、90代男性(O157 VT1・VT2)であった。報告されたHUS発症例(92例)の致死率は3.3%であった。

なお、HUSの合併や死亡の報告については、届出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があるため、このような発生があった場合には報告の追加、修正をお願いしている。

図6. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例の性別・年齢群別報告数(2010年)

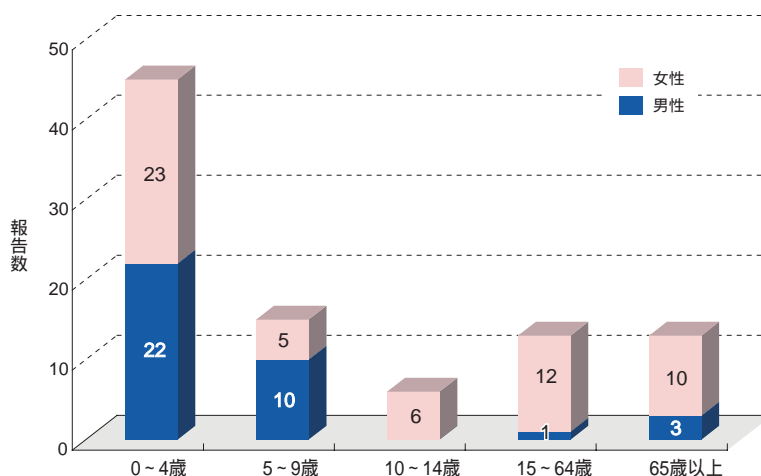


表2. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例の年齢群別報告数と有症状者に占める割合(2010年)

2010年			
年齢群	HUS	有症状者	HUS/有症状者(%)
0～4歳	45	624	7.2%
5～9歳	15	406	3.7%
10～14歳	6	249	2.4%
15～64歳	13	1,176	1.1%
65歳以上	13	264	4.9%
総計	92	2,719	3.4%

表3. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例における分離菌の血清群と毒素型(2010年)

O血清群		毒素型	2010年 再掲 (死亡)
O157		VT1	0
		VT2	18
		VT1・VT2	31 (1)
		VT不明	6 (1)
小計			55 (2)
その他	O121	VT2	2
	O26	VT1	1
	O111	VT1・VT2	1
	O145	VT2	1
	O不明	VT1・VT2	1
	O不明	VT不明	1 (1)
小計			7 (1)
総計			62 (3)

<参考>菌分離以外の診断によるHUS報告症例	
血清でのO抗原凝集抗体	28
[うちO157LPS抗体陽性]	[19]
[うちO165LPS抗体陽性]	[1]
便でのペロ毒素検出	2

2010年のまとめ

感染症法施行以降の年間累積報告数を2000年以降の11年間でみると、2010年は2007年、2001年、2008年に次ぐ4番目の報告数であった。2010年は同系列の中学・高校における大規模食中毒が発生した。また、愛知県内を中心として、6～7月に牛生レバーを推定原因とするO157の食中毒事例が多発した。菌株の分子疫学解析では、関連は不明であるがその食中毒原因菌株と同一遺伝子パターンを有する菌株が、その後数カ月にかけて関東・東海・中部地方から複数分離されていた⁵⁾。また、保育施設・幼稚園での集団感染事例も、従来と変わらず各地で発生がみられた。

HUS発症例は92例(2004年48例、2005年42例、2006年102例、2007年129例、2008年94例、2009年83例)で、HUS発症者の届出基準が改正された2006年以降の過去4年の報告数と比べると2009年に次いで少なかった。死亡の報告数は5例(1999年1例、2000年2例、2001年4例、2002年4例、2003年2例、2004年5例、2005年10例、2006年3例、2007年4例、2008年8例、2009年3例)であった。小児や高齢者において、HUSなどの重症例や死亡例が多くみられており、特にHUSは10歳未満の小児で報告数が多く、全HUS発症者の65%を占めた。また、HUS発症率でみると、2006年以降3%に満たなかった65歳以上のHUS発症率が、本年は4.9%と高かった。感染源・感染経路として、92例中8例(8.7%)で生肉(ユッケ、レバー、牛刺し、加熱不十分な肉等)の喫食が記載されており、8例中6例は小児で、うち5例は5歳未満であった。

感染経路や感染源の推定・確定は、本症の潜伏期間が2～14日と比較的長いこともあり、不明瞭なことも多いが、近年生肉や生レバーが感染源と見られる届出も多く認められている。特に小児、高齢者や抵抗力の弱い者などでは、肉・レバーなどはよく加熱し、生食は控える必要がある。食品の取り扱いには十分注意して、食中毒の発生予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。最近では自治体をまたいだ食中毒を含む広域発生事例も散見されている。食材・食品の流通という観点も併せ、速やかな探知とそれに続く迅速な事例調査、さらに関連自治体間の連携は、本疾患の対策上今後ますます重要と考える。また、保育園や幼稚園などの保育施設での集団感染事例があとを絶たない。1人では手指衛生を十分に行えない乳幼児が集団生活を営む保育施設では特に、感染症発生の早期探知と二次感染予防を含めた拡大防止策の徹底が重要である。

2011年暫定報告数(2011年9月14日現在)

報告数は2,950例で、うちHUS発症例は84例、死亡13例である。

参照：病原微生物検出情報IASR

- 1) Vol.32 p132-133.2011 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/32/375/dj3757.html>
- 2) Vol.32 p130-131.2011 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/32/375/dj3754.html>
- 3) Vol.32 p126. 2011 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/32/375/graph/t3752j.gif>
- 4) Vol.32 p129-130. 2011 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/32/375/dj3753.html>
- 5) Vol.32 p128-129. 2011 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/32/375/dj3752.html>

生後3カ月以内の乳児における不明熱等患者からのパレコウイルス3型の検出 - 山口県

2011年7月中旬の同時期に、山口市内の総合病院に、発熱を呈する生後1カ月前後の乳児4人が入院した。臨床症状は39 台の発熱のみで、他に症状は見られなかった。血液検査所見からウイルス感染が疑われることから、患者4人のうちの3名の咽頭ぬぐい液検体が、山口県環境保健センターに搬入された。

これらについて、当初、県内にて流行中であった手足口病・ヘルパンギーナ、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎の原因ウイルスであるエンテロウイルス、ヒトパルボウイルス、ムンプスウイルスに加え、主要な呼吸器ウイルスを対象とした(RT-)PCR法によるウイルス遺伝子検索を行ったが、すべて陰性であった。そこで、新生児髄膜炎との関連性が報告されているパレコウイルス²⁾について、VP3/VP1領域を標的としたNested-RT-PCR法¹⁾によるウイルス遺伝子検出を試みたところ、3検体すべてから、パレコウイルス特異的遺伝子が検出され、PCR産物のダイレクトシーケンスによる塩基配列の決定およびBLASTによる相同性検索の結果、パレコウイルス3型と型別判定された(表: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/graph/pt38021.gif> 参照、患者No.10～12)。

一方、今シーズンの発生動向調査の病原体サーベイランス検体においても、1歳未満の患者検体が多く搬入されていたことから、これらのうち、生後3カ月以内の患者26名36検体を対象として、同様にパレコウイルス遺伝子検索を行ったところ、県内全域の5医療機関からの16名22検体からパレコウイルス3型が検出された(表: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/graph/pt38021.gif> 参照)。

パレコウイルス3型は、2008年以来³⁾、大きな流行が見られなかったが、2011年については、既に各地の地方衛生研究所から131件の検出報告があり、全国的に流行していることが示されている(2011年8月31日現在)。

パレコウイルスについては、他の型と比較して特にパレコウイルス3型が、3カ月未満の乳児での感染が多いことおよび神経親和性が高いことが報告されている²⁾。これらの乳児については、入院治療が必要となる場合が多く、また、無菌性髄膜炎の症状を呈することもある。特に、本年のようなパレコウイルス3型の流行が見られる場合には、乳児での発熱等患者の動向についての注意が必要である。

参考文献

- 1) Harvala H., *et al.*, J Clin Microbiol 46: 3446-3453, 2008
- 2) Harvala H., *et al.*, J Infect Dis 199: 1753-1760, 2009
- 3) 山本美和子, 他, IASR 29: 255, 2008

山口県環境保健センター

戸田昌一 岡本玲子 渡邊宜朗 濱岡修二 富田正章 調 恒明

(IASR 2011年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



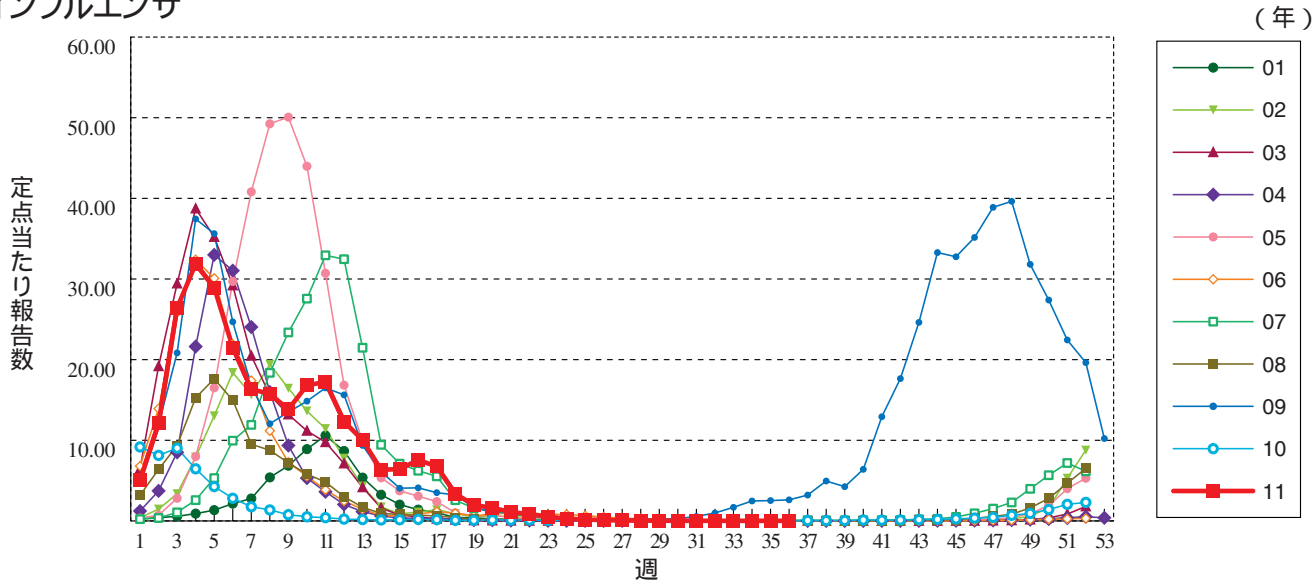
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

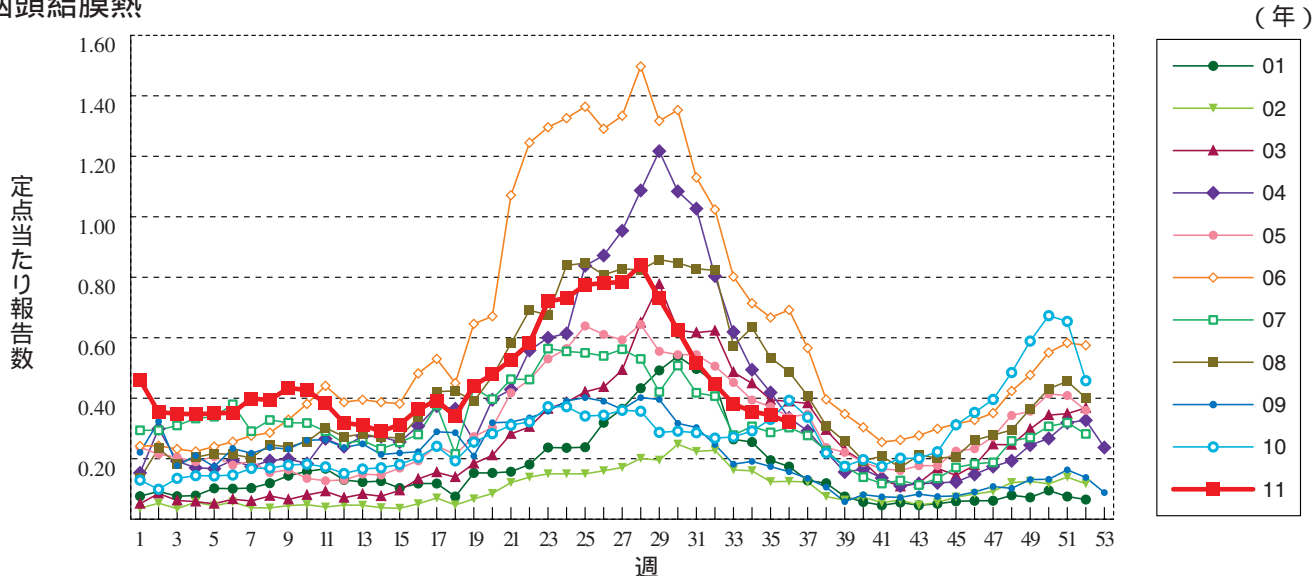


グラフ総覧(36週)

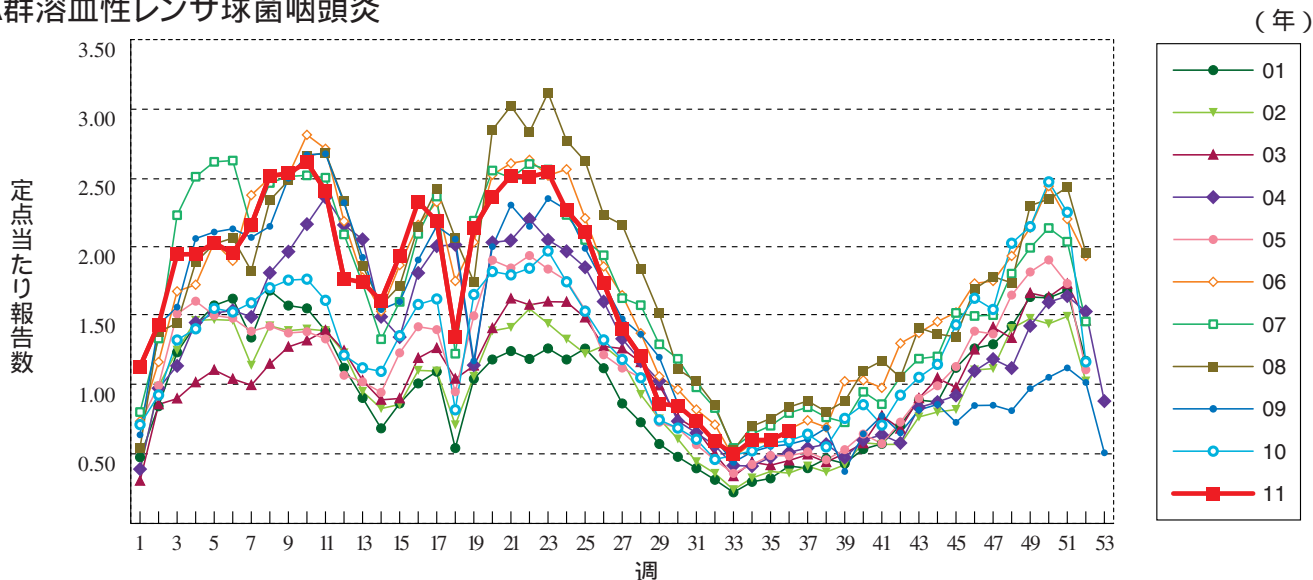
インフルエンザ



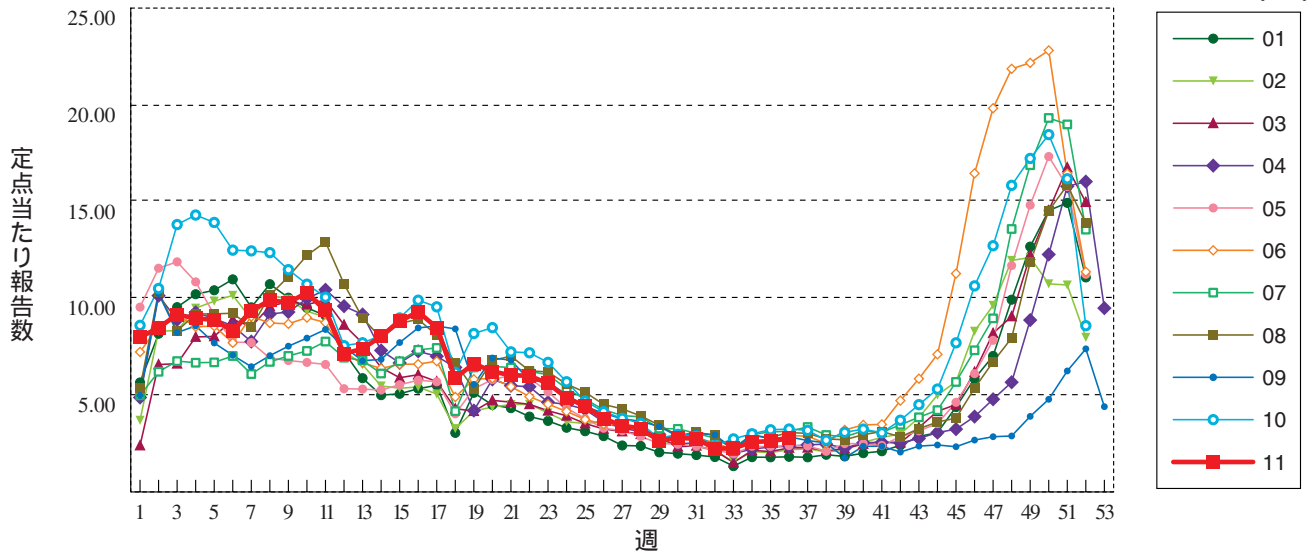
咽頭結膜熱



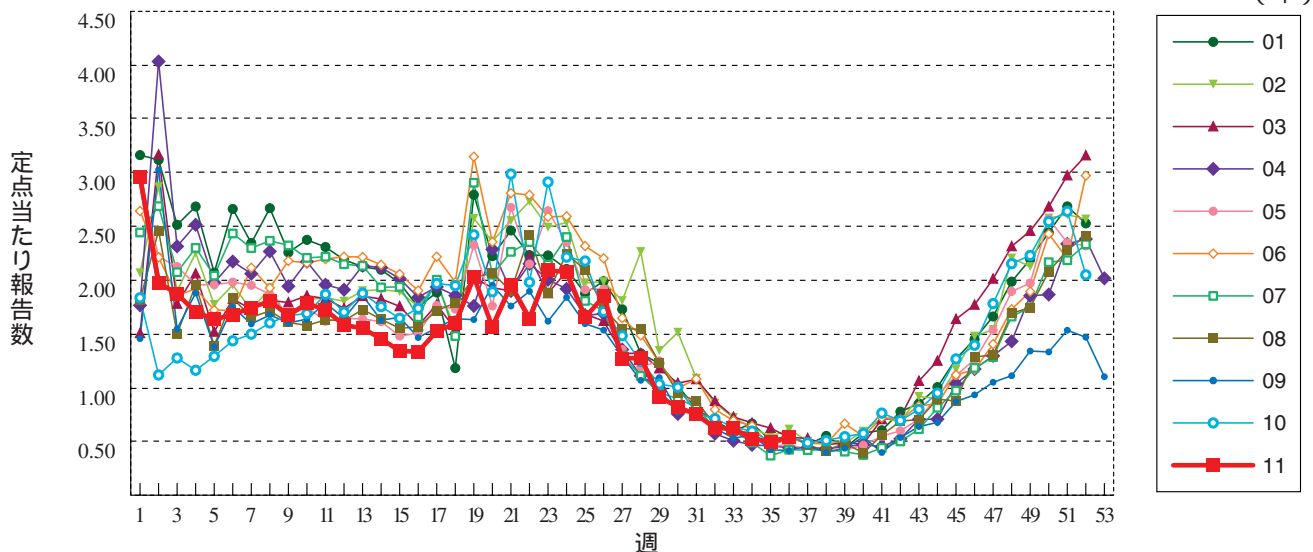
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



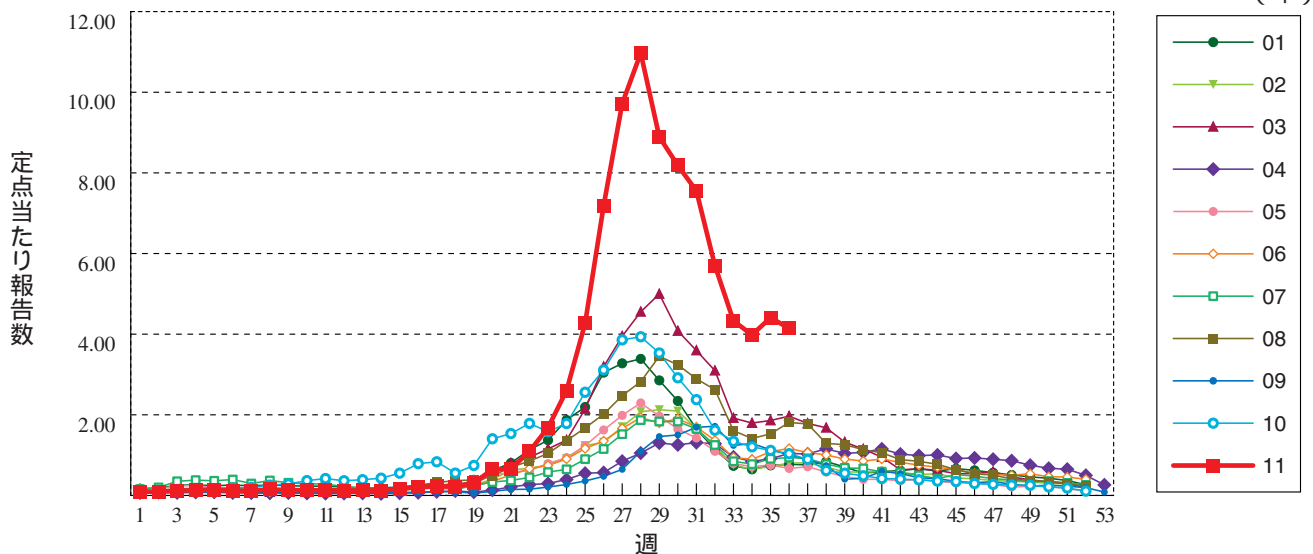
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



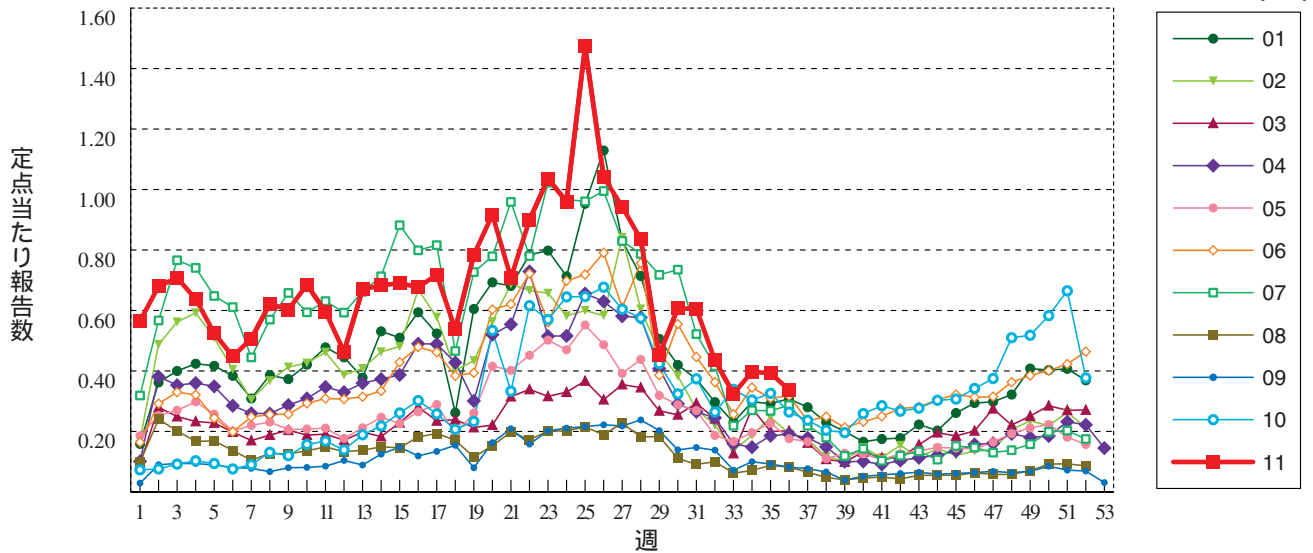
水痘



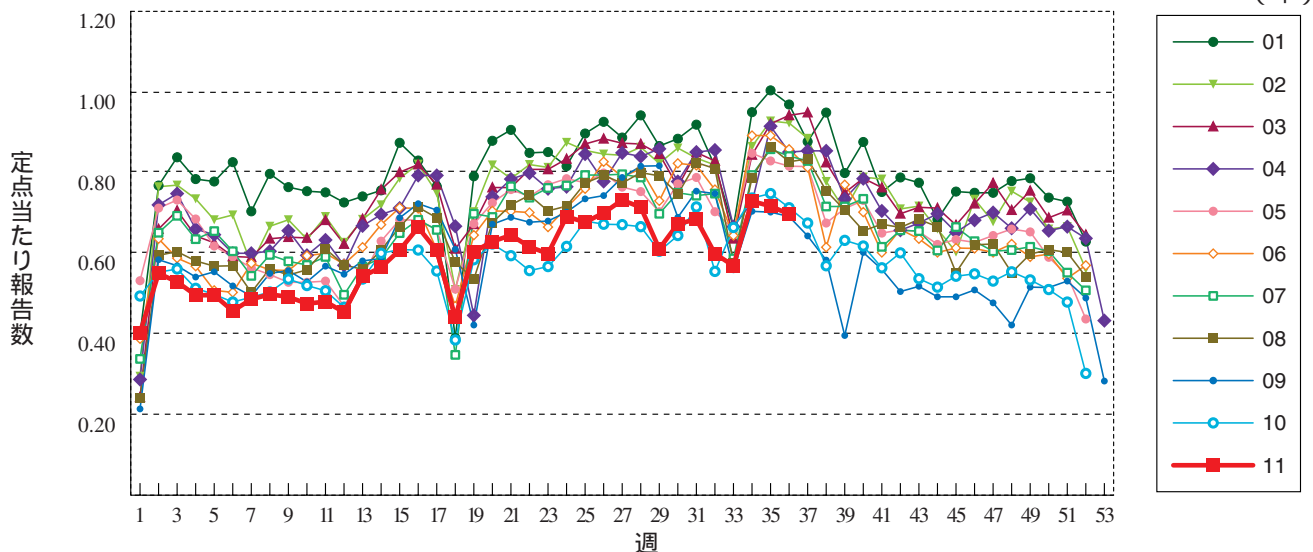
手足口病



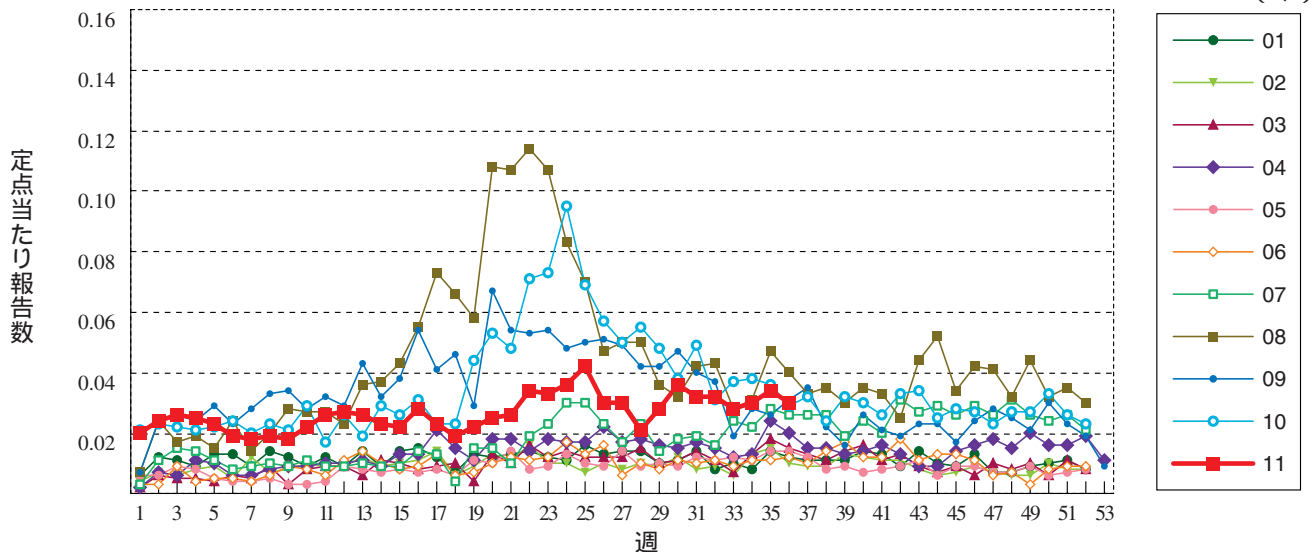
伝染性紅斑



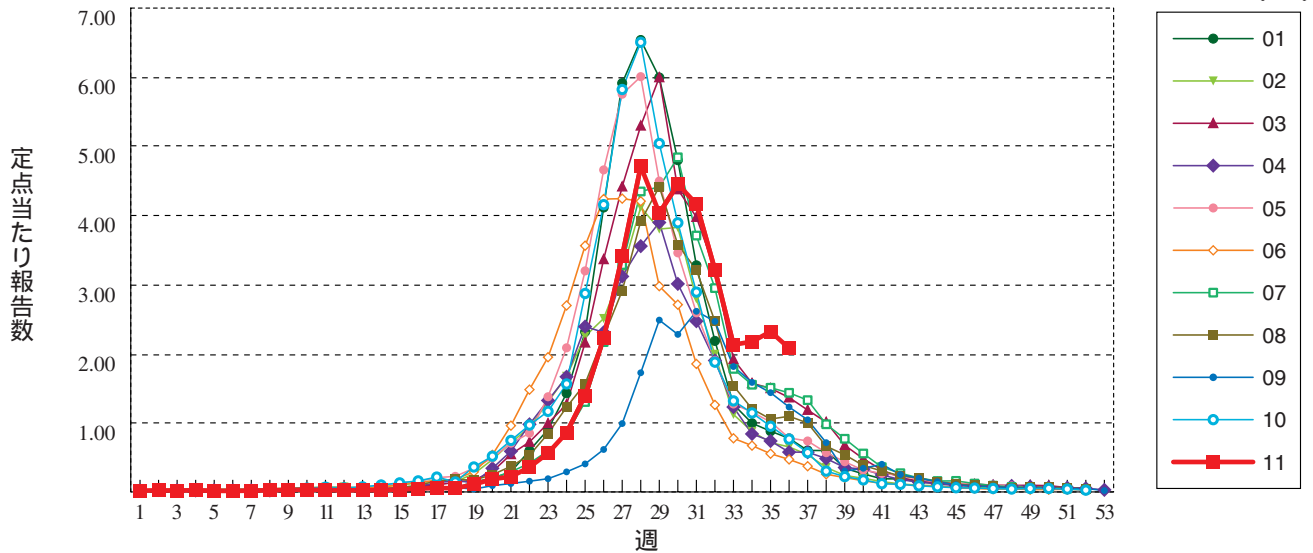
突発性発しん



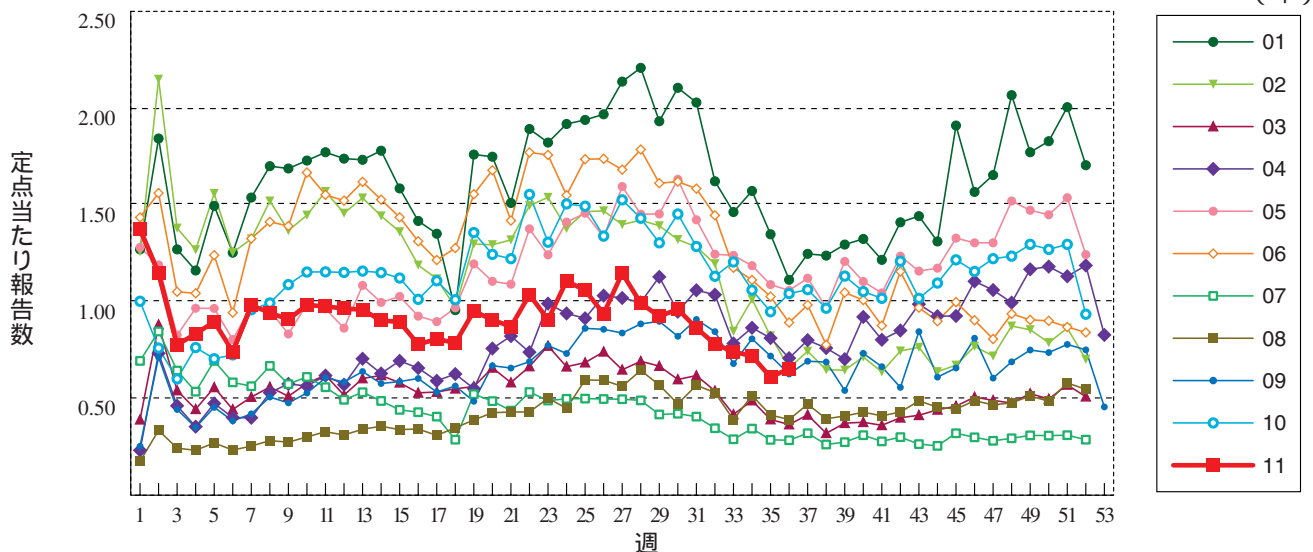
百日咳



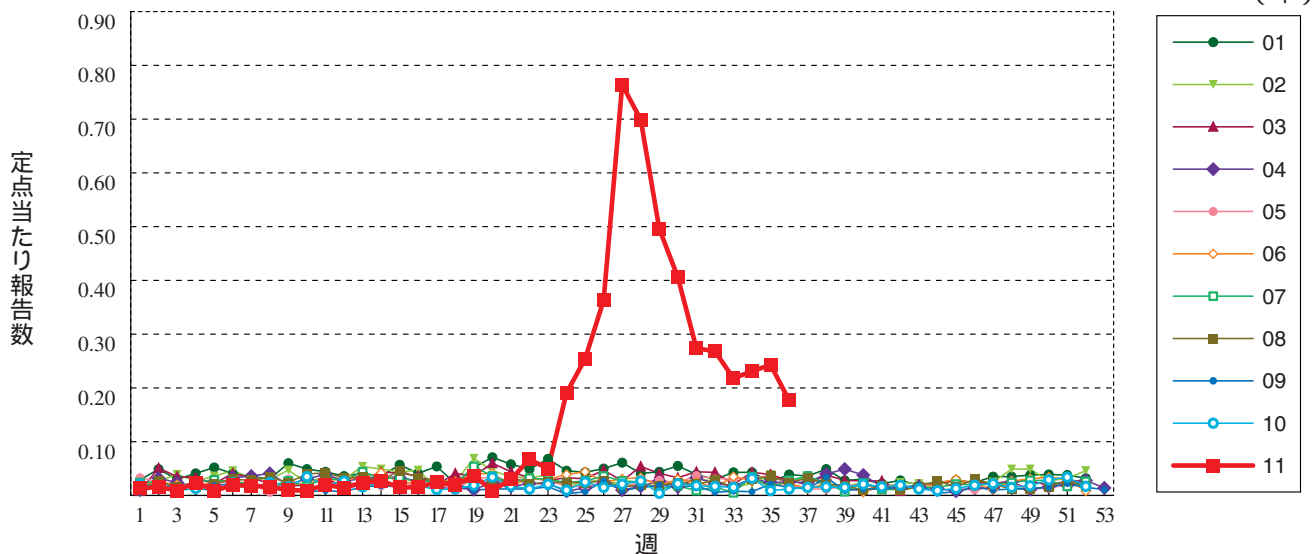
ヘルパンギーナ



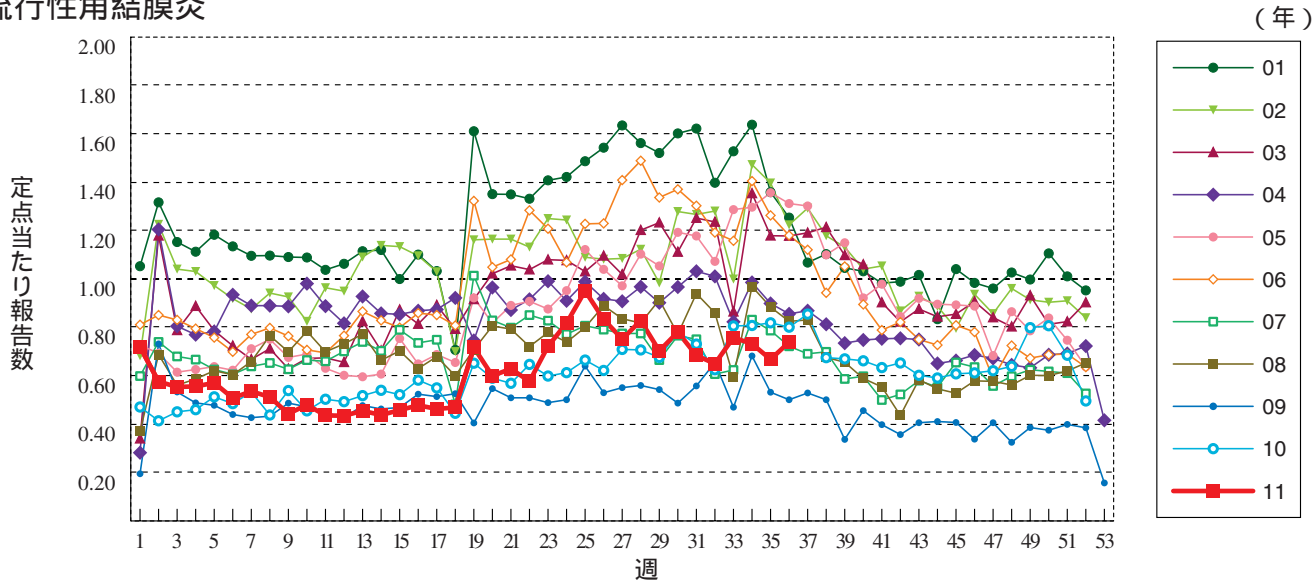
流行性耳下腺炎



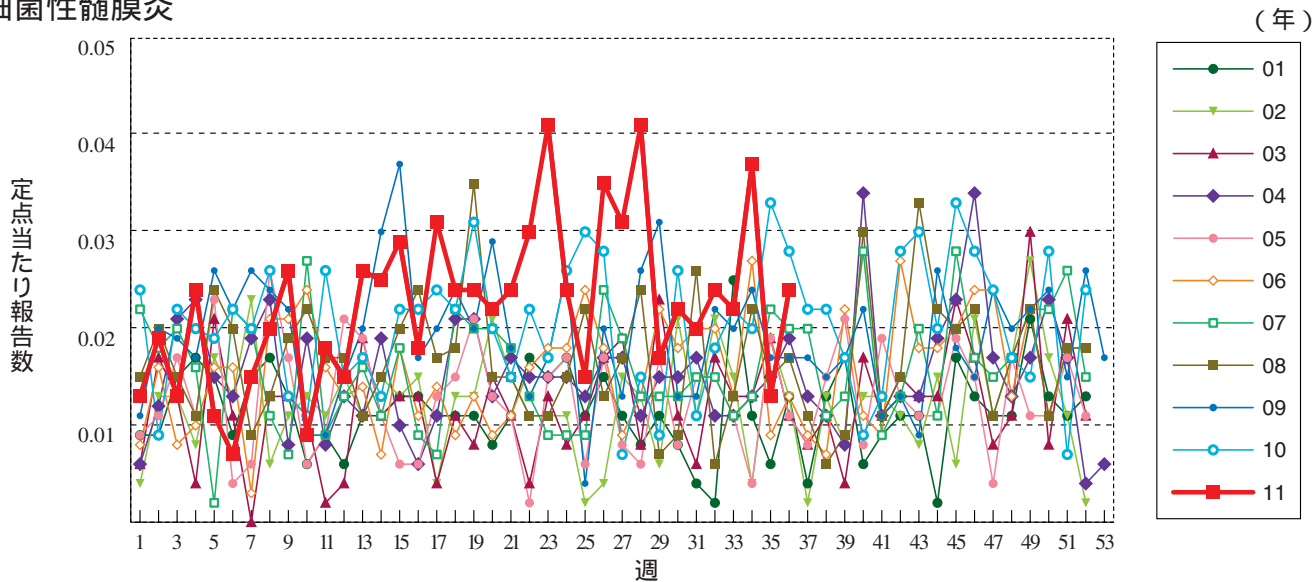
急性出血性結膜炎



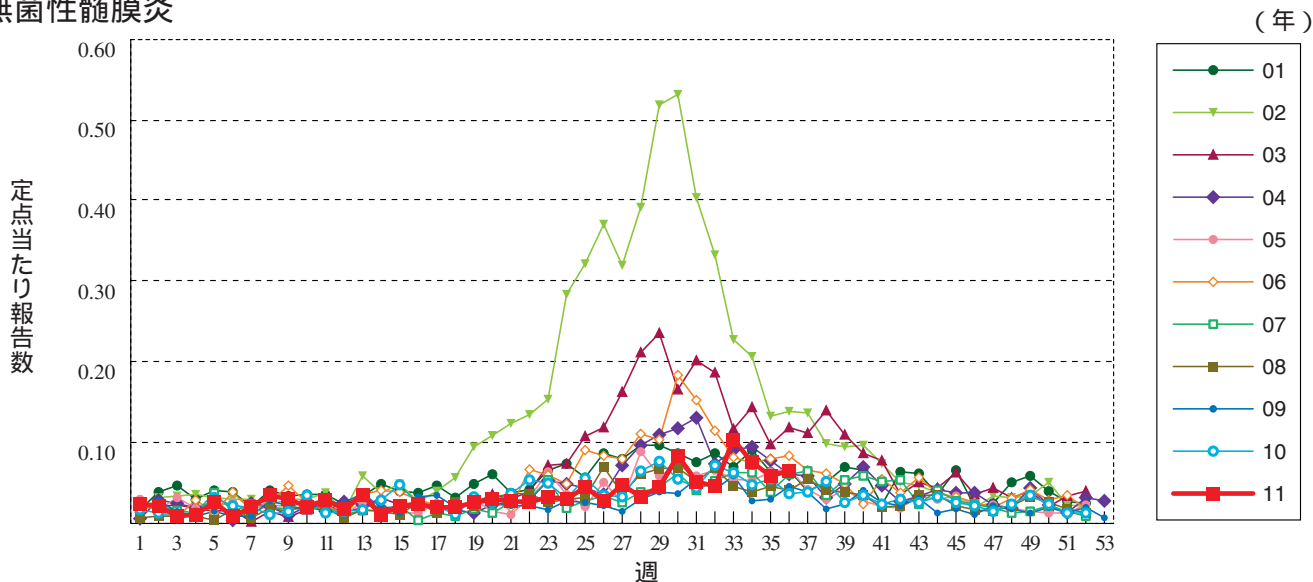
流行性角結膜炎



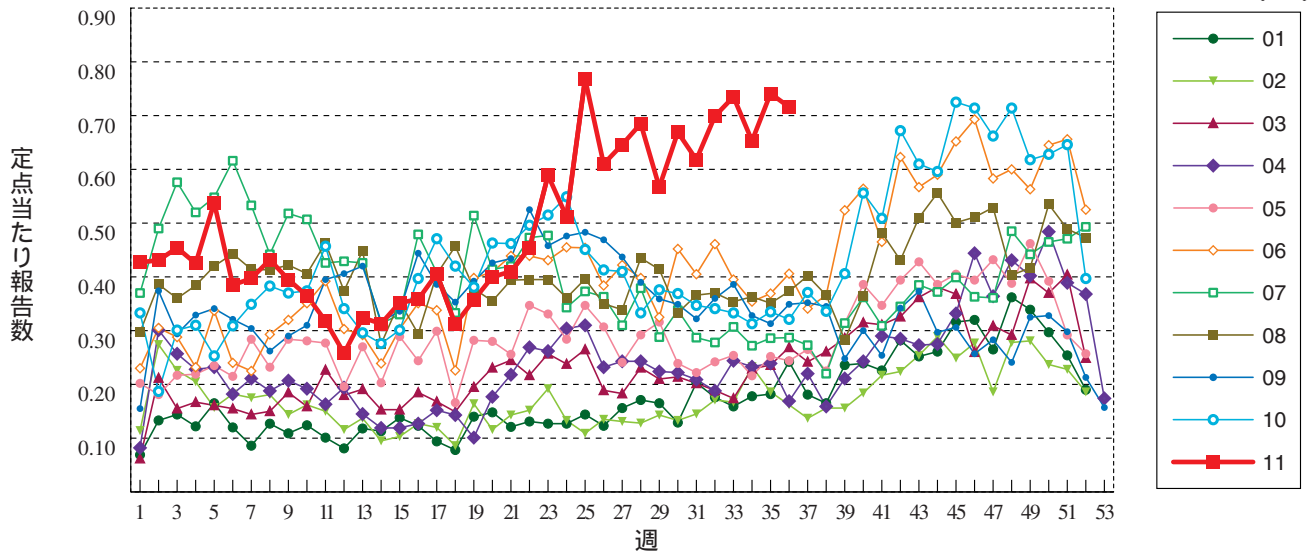
細菌性髄膜炎



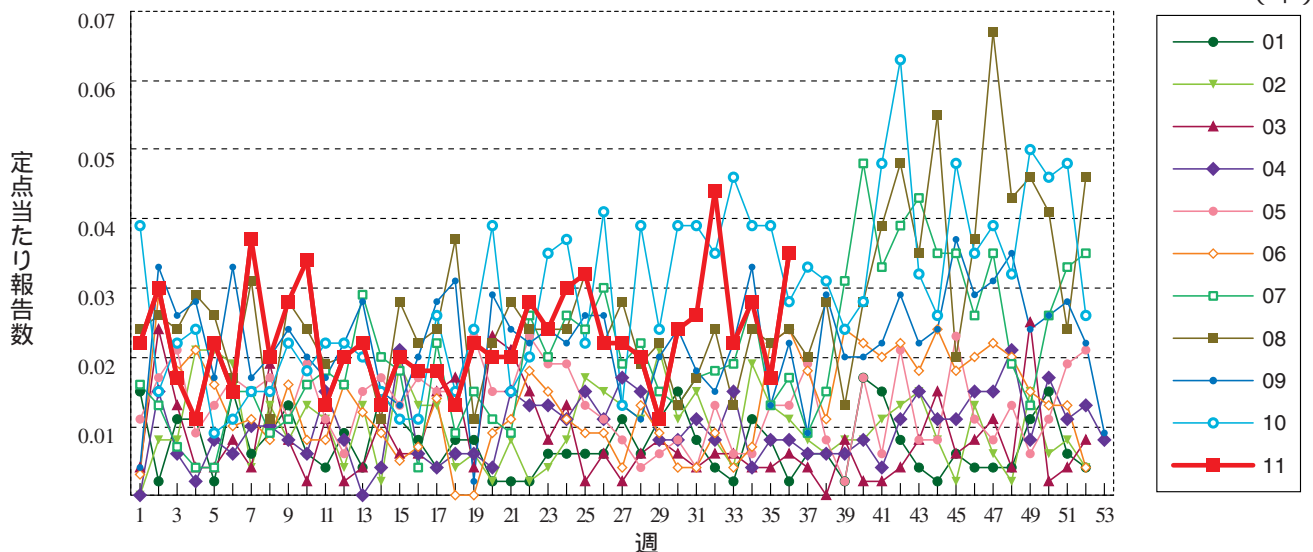
無菌性髄膜炎



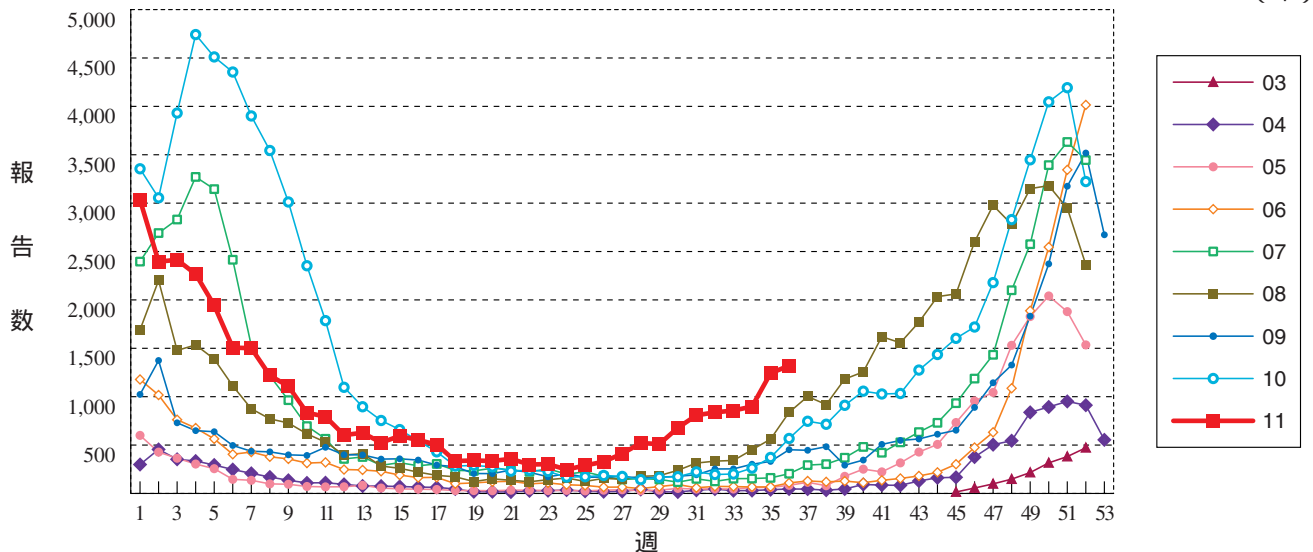
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





36週のデータ

注) 表中の報告数は9月14日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年36週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	407	20948
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	678
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	298
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	115
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	239
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	166
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	205
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	213
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	489
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	244
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	149
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	1050
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	1018
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	49	3294	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	1507
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	268
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	160
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	187
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	125
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	262
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	380
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	498
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	1417
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	238
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	217
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	500
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	987
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	784
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	223
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	333
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	160
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	349
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	586
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	223
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	166
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	209
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	129
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	866
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	268
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	267
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	248
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	205
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	200
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	269
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	229

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年36週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	6	14	190	126	2950	-	15	-	18	-	44	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	69	-	-	-	-	-	9	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	22	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	113	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	9	83	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	19	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	11	-	293	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	3	14	4	30	-	-	-	-	-	1	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	33	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	59	-	2	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	32	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	93	-	1	-	-	-	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	10	6	138	-	-	-	2	-	2	
東京都	-	-	-	-	-	-	1	4	48	13	199	-	3	-	9	-	7	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	1	17	4	89	-	-	-	2	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	47	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	181	-	-	-	1	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	45	-	1	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	26	-	-	-	-	-	1	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	4	65	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	58	-	-	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	54	-	-	-	-	-	2	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	2	86	-	1	-	2	-	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	25	-	-	-	2	-	3	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	61	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	69	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	5	16	161	-	2	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	94	-	-	-	-	-	2	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	1	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	50	-	-	-	-	-	1	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	6	54	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	1	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	1	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	10	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	15	3	114	-	2	-	-	-	3	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	23	-	-	-	-	-	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	66	-	2	-	-	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	39	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	51	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	67	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	32	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年36週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	148	-	13	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	22	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年36週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	166
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	8
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	24
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年36週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	67	-	-	-	-	-	-	4	94	1	3	-	-	-	-	-	-
北海道	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	14	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	7	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年36週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	47	-	-	-	5	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	3	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年36週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	14	507	2	12	-	-	13	562	2	176	1	195	-	7
北海道	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	9	-	2	-	5	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	6	-	5	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	9	-	2	-	6	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5	-	1	-	9	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	6	-	2	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	1	27	1	7	-	12	-	-
千葉県	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	1	41	-	5	-	16	-	-
東京都	-	-	-	-	3	47	-	3	-	-	3	121	-	28	-	13	-	2
神奈川県	-	-	-	1	2	36	-	-	-	-	1	45	-	10	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	1	1	21	-	-	-	-	-	8	-	2	-	12	-	-
富山県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	4	-	4	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	10	-	3	-	6	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	8	-	2	-	2	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	17	-	-	-	11	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	25	-	7	1	11	-	-
三重県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	8	-	7	-	5	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	16	-	7	-	11	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	45	-	1	-	-	2	56	-	12	-	15	-	1
兵庫県	-	-	-	-	1	36	-	-	-	-	1	22	-	12	-	9	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	10	-	7	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	9	-	12	-	5	-	-
山口県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	4	-	3	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	5	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	5	1	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	1	19	1	9	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	1	-	5	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	9	-	2	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年36週

	クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	4	86	1	153	7	990	1	46	-	7	-	1	13	531	1	80	-	-
北海道	1	6	-	5	-	17	-	-	-	-	-	-	16	-	5	-	-	
青森県	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	7	-	6	-	-	
秋田県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
福島県	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
茨城県	-	4	-	3	1	18	-	2	-	-	-	-	1	18	-	4	-	
栃木県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	
群馬県	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	
埼玉県	-	4	-	4	-	29	-	3	-	-	-	-	11	-	2	-	-	
千葉県	-	5	-	6	-	39	-	1	-	1	-	-	2	15	-	1	-	
東京都	1	13	-	26	4	265	-	8	-	2	-	-	4	154	-	6	-	
神奈川県	-	1	-	7	1	56	-	4	-	-	-	-	1	28	-	1	-	
新潟県	1	3	-	7	-	8	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	
富山県	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	
石川県	-	1	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
福井県	-	-	-	2	-	5	-	1	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
山梨県	-	2	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	4	-	10	-	1	-	-	-	-	6	-	2	-	-	
岐阜県	-	1	-	2	-	17	1	2	-	-	-	-	9	-	2	-	-	
静岡県	-	2	-	5	-	18	-	3	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
愛知県	-	1	-	10	-	69	-	3	-	-	-	-	1	32	-	3	-	
三重県	-	2	-	2	-	9	-	1	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
滋賀県	-	1	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
京都府	-	3	-	3	-	9	-	2	-	-	-	-	7	-	-	-	-	
大阪府	-	6	-	10	-	162	-	2	-	-	-	-	50	-	1	-	-	
兵庫県	-	2	-	3	-	36	-	4	-	-	-	-	1	22	-	1	-	
奈良県	-	1	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
和歌山県	-	1	1	3	-	8	-	1	-	-	-	-	4	-	2	-	-	
鳥取県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
島根県	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	
岡山県	-	1	-	1	-	10	-	2	-	-	-	-	8	-	2	-	-	
広島県	-	2	-	3	-	20	-	-	-	-	-	-	1	5	-	4	-	
山口県	-	1	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
香川県	-	2	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
愛媛県	-	3	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
福岡県	1	6	-	18	-	36	-	-	-	1	-	-	26	-	2	-	-	
佐賀県	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	8	1	2	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	
大分県	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
宮崎県	-	-	-	1	1	9	-	-	-	2	-	-	1	8	-	7	-	
鹿児島県	-	2	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-	14	-	3	-	-	
沖縄県	-	1	-	3	-	12	-	1	-	-	-	-	1	5	-	1	-	

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2011年36週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	41	-	313	2	392
北海道	1	1	-	18	-	8
青森県	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	2
宮城県	-	1	-	1	-	1
秋田県	-	1	-	1	-	1
山形県	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	9	-	-
栃木県	-	1	-	1	-	9
群馬県	-	1	-	-	-	5
埼玉県	-	1	-	6	-	27
千葉県	-	4	-	7	-	25
東京都	-	1	-	26	-	163
神奈川県	-	8	-	60	-	36
新潟県	-	-	-	5	1	1
富山県	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	1	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	2
長野県	-	1	-	1	-	1
岐阜県	-	1	-	2	-	2
静岡県	-	-	-	4	-	8
愛知県	-	-	-	11	-	26
三重県	-	1	-	5	1	1
滋賀県	-	-	-	2	-	2
京都府	-	1	-	1	-	2
大阪府	1	7	-	46	-	10
兵庫県	-	1	-	7	-	12
奈良県	-	-	-	1	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	4
広島県	-	1	-	12	-	24
山口県	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	1	-	1
愛媛県	-	1	-	1	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	63	-	5
佐賀県	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	3
熊本県	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	2	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	1	-	1	-	2
沖縄県	-	2	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年36週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	58	0.01	1002	0.32	2089	0.67	8667	2.77	1687	0.54	12974	4.14	1054	0.34	2184	0.70	93	0.03
北海道	1	0.00	69	0.48	169	1.18	172	1.20	89	0.62	850	5.94	26	0.18	93	0.65	1	0.01
青森県	-	-	5	0.13	3	0.08	41	1.03	34	0.85	434	10.85	3	0.08	18	0.45	-	-
岩手県	-	-	-	-	20	0.50	85	2.13	33	0.83	433	10.83	6	0.15	12	0.30	-	-
宮城県	2	0.02	10	0.17	30	0.51	172	2.92	45	0.76	628	10.64	11	0.19	55	0.93	-	-
秋田県	-	-	14	0.40	5	0.14	83	2.37	12	0.34	500	14.29	4	0.11	15	0.43	-	-
山形県	-	-	4	0.13	29	0.97	96	3.20	21	0.70	277	9.23	20	0.67	24	0.80	-	-
福島県	2	0.03	8	0.17	36	0.75	96	2.00	17	0.35	270	5.63	48	1.00	37	0.77	-	-
茨城県	3	0.03	11	0.15	30	0.40	134	1.79	17	0.23	157	2.09	13	0.17	31	0.41	-	-
栃木県	-	-	7	0.15	20	0.42	52	1.08	13	0.27	105	2.19	26	0.54	34	0.71	1	0.02
群馬県	-	-	48	0.79	37	0.61	194	3.18	47	0.77	304	4.98	15	0.25	35	0.57	-	-
埼玉県	5	0.02	36	0.23	127	0.80	552	3.49	72	0.46	636	4.03	58	0.37	130	0.82	1	0.01
千葉県	-	-	13	0.10	96	0.74	285	2.19	54	0.42	472	3.63	24	0.18	87	0.67	11	0.08
東京都	7	0.02	65	0.25	181	0.69	850	3.26	106	0.41	1136	4.35	77	0.30	199	0.76	9	0.03
神奈川県	1	0.00	30	0.15	94	0.47	446	2.23	78	0.39	828	4.14	35	0.18	155	0.78	7	0.04
新潟県	-	-	31	0.52	45	0.75	85	1.42	31	0.52	264	4.40	10	0.17	43	0.72	3	0.05
富山県	-	-	5	0.17	39	1.34	117	4.03	10	0.34	225	7.76	2	0.07	12	0.41	-	-
石川県	-	-	5	0.17	25	0.86	79	2.72	19	0.66	126	4.34	8	0.28	16	0.55	-	-
福井県	-	-	16	0.73	32	1.45	110	5.00	17	0.77	48	2.18	2	0.09	8	0.36	-	-
山梨県	-	-	21	0.88	10	0.42	45	1.88	4	0.17	80	3.33	10	0.42	18	0.75	-	-
長野県	-	-	49	0.91	79	1.46	159	2.94	27	0.50	334	6.19	22	0.41	22	0.41	1	0.02
岐阜県	1	0.01	20	0.38	7	0.13	132	2.49	12	0.23	211	3.98	16	0.30	22	0.42	1	0.02
静岡県	1	0.01	62	0.75	69	0.83	250	3.01	29	0.35	347	4.18	26	0.31	81	0.98	2	0.02
愛知県	1	0.01	27	0.15	81	0.45	494	2.73	112	0.62	805	4.45	146	0.81	124	0.69	4	0.02
三重県	1	0.01	41	0.91	24	0.53	124	2.76	24	0.53	129	2.87	13	0.29	43	0.96	4	0.09
滋賀県	-	-	14	0.44	17	0.53	95	2.97	11	0.34	107	3.34	4	0.13	21	0.66	-	-
京都府	-	-	17	0.24	18	0.25	156	2.20	28	0.39	164	2.31	14	0.20	37	0.52	2	0.03
大阪府	5	0.02	52	0.27	173	0.88	507	2.59	124	0.63	360	1.84	90	0.46	132	0.67	8	0.04
兵庫県	-	-	26	0.20	62	0.48	371	2.88	62	0.48	251	1.95	53	0.41	83	0.64	6	0.05
奈良県	-	-	20	0.57	17	0.49	51	1.46	17	0.49	77	2.20	12	0.34	14	0.40	-	-
和歌山県	-	-	7	0.23	13	0.42	51	1.65	16	0.52	51	1.65	10	0.32	21	0.68	4	0.13
鳥取県	1	0.03	12	0.63	20	1.05	40	2.11	6	0.32	42	2.21	5	0.26	12	0.63	2	0.11
島根県	-	-	1	0.04	10	0.43	99	4.30	15	0.65	243	10.57	8	0.35	16	0.70	-	-
岡山県	-	-	15	0.28	16	0.30	191	3.54	21	0.39	79	1.46	9	0.17	23	0.43	-	-
広島県	-	-	33	0.46	46	0.65	204	2.87	36	0.51	313	4.41	27	0.38	40	0.56	9	0.13
山口県	-	-	6	0.13	39	0.81	182	3.79	40	0.83	241	5.02	28	0.58	43	0.90	-	-
徳島県	-	-	6	0.26	18	0.78	73	3.17	15	0.65	21	0.91	21	0.91	14	0.61	-	-
香川県	-	-	19	0.63	3	0.10	96	3.20	8	0.27	50	1.67	19	0.63	21	0.70	2	0.07
愛媛県	-	-	14	0.38	19	0.51	130	3.51	42	1.14	205	5.54	13	0.35	32	0.86	2	0.05
高知県	-	-	30	1.00	13	0.43	43	1.43	13	0.43	184	6.13	12	0.40	17	0.57	2	0.07
福岡県	-	-	56	0.47	98	0.82	564	4.70	97	0.81	122	1.02	25	0.21	113	0.94	7	0.06
佐賀県	-	-	1	0.04	27	1.17	23	1.00	34	1.48	28	1.22	8	0.35	26	1.13	1	0.04
長崎県	-	-	12	0.27	29	0.66	103	2.34	53	1.20	145	3.30	5	0.11	34	0.77	-	-
熊本県	-	-	14	0.29	23	0.48	215	4.48	31	0.65	181	3.77	5	0.10	39	0.81	-	-
大分県	-	-	6	0.17	47	1.31	195	5.42	17	0.47	139	3.86	13	0.36	31	0.86	-	-
宮崎県	-	-	30	0.86	41	1.17	117	3.34	32	0.91	89	2.54	27	0.77	47	1.34	-	-
鹿児島県	1	0.01	12	0.22	36	0.65	232	4.22	36	0.65	204	3.71	11	0.20	43	0.78	-	-
沖縄県	26	0.45	2	0.06	16	0.47	76	2.24	10	0.29	79	2.32	14	0.41	11	0.32	3	0.09

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年36週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	6514	2.08	2049	0.65	120	0.18	502	0.74	11	0.02	30	0.07	330	0.72	16	0.03	1321
北海道	608	4.25	48	0.34	-	-	19	0.66	-	-	-	-	4	0.17	-	-	27
青森県	190	4.75	28	0.70	-	-	4	0.36	-	-	-	-	10	1.67	-	-	18
岩手県	73	1.83	33	0.83	-	-	6	0.43	-	-	-	-	16	0.84	-	-	9
宮城県	157	2.66	53	0.90	1	0.08	-	-	-	-	1	0.08	19	1.58	-	-	11
秋田県	190	5.43	11	0.31	3	0.43	1	0.14	-	-	-	-	3	0.38	-	-	6
山形県	360	12.00	35	1.17	-	-	2	0.25	-	-	1	0.10	2	0.20	-	-	1
福島県	280	5.83	16	0.33	-	-	15	1.25	-	-	-	-	5	0.71	1	0.14	31
茨城県	104	1.39	40	0.53	1	0.06	32	1.88	-	-	-	-	1	0.08	-	-	11
栃木県	21	0.44	16	0.33	-	-	3	0.25	1	0.14	-	-	6	0.86	7	1.00	13
群馬県	217	3.56	41	0.67	-	-	18	1.20	-	-	1	0.13	6	0.75	-	-	2
埼玉県	369	2.34	45	0.28	-	-	18	0.44	-	-	8	0.89	20	2.22	-	-	16
千葉県	241	1.85	37	0.28	1	0.03	19	0.56	1	0.11	-	-	3	0.33	-	-	26
東京都	573	2.20	81	0.31	1	0.03	22	0.59	3	0.13	2	0.08	33	1.38	1	0.04	97
神奈川県	330	1.65	47	0.24	-	-	35	0.81	1	0.11	-	-	5	0.56	-	-	38
新潟県	574	9.57	106	1.77	2	0.22	5	0.56	-	-	1	0.08	4	0.33	4	0.33	34
富山県	129	4.45	18	0.62	-	-	-	-	-	-	-	-	12	2.40	-	-	8
石川県	23	0.79	12	0.41	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.40	-	-	12
福井県	98	4.45	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.00	-	-	15
山梨県	40	1.67	13	0.54	-	-	4	0.44	-	-	-	-	1	0.10	-	-	1
長野県	354	6.56	96	1.78	-	-	11	1.00	-	-	1	0.09	9	0.82	-	-	-
岐阜県	32	0.60	15	0.28	-	-	5	0.45	-	-	-	-	3	0.60	-	-	8
静岡県	150	1.81	46	0.55	-	-	22	1.10	1	0.11	1	0.11	7	0.78	-	-	34
愛知県	136	0.75	65	0.36	-	-	9	0.26	-	-	1	0.07	23	1.64	-	-	43
三重県	45	1.00	31	0.69	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	17
滋賀県	53	1.66	21	0.66	-	-	2	0.25	-	-	-	-	1	0.14	-	-	12
京都府	29	0.41	24	0.34	1	0.06	5	0.28	-	-	-	-	3	0.43	-	-	7
大阪府	103	0.53	99	0.51	1	0.02	24	0.47	1	0.07	-	-	22	1.47	-	-	209
兵庫県	83	0.64	121	0.94	-	-	29	0.83	1	0.10	3	0.30	3	0.30	1	0.10	30
奈良県	17	0.49	6	0.17	1	0.11	6	0.67	-	-	-	-	1	0.17	-	-	7
和歌山県	19	0.61	13	0.42	-	-	1	0.25	-	-	1	0.09	4	0.36	-	-	16
鳥取県	15	0.79	23	1.21	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.40	-	-	11
島根県	43	1.87	13	0.57	-	-	-	-	-	-	2	0.25	5	0.63	-	-	7
岡山県	49	0.91	86	1.59	-	-	10	0.83	-	-	-	-	7	1.40	1	0.20	14
広島県	109	1.54	36	0.51	-	-	27	1.42	-	-	-	-	10	0.48	-	-	16
山口県	67	1.40	60	1.25	-	-	5	0.56	-	-	-	-	4	0.44	1	0.11	33
徳島県	13	0.57	13	0.57	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	40
香川県	96	3.20	42	1.40	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.20	-	-	74
愛媛県	86	2.32	100	2.70	-	-	13	1.63	-	-	-	-	5	0.83	-	-	16
高知県	20	0.67	8	0.27	-	-	2	0.67	1	0.14	-	-	2	0.29	-	-	4
福岡県	144	1.20	114	0.95	4	0.15	18	0.69	-	-	1	0.07	3	0.20	-	-	85
佐賀県	23	1.00	28	1.22	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33	10	1.67	-	-	2
長崎県	20	0.45	30	0.68	-	-	5	0.63	-	-	1	0.09	15	1.36	-	-	16
熊本県	75	1.56	80	1.67	-	-	20	2.22	-	-	-	-	4	0.27	-	-	33
大分県	63	1.75	25	0.69	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.27	-	-	10
宮崎県	61	1.74	58	1.66	-	-	13	2.17	1	0.14	-	-	3	0.43	-	-	147
鹿児島県	14	0.25	100	1.82	-	-	6	0.86	-	-	-	-	6	0.50	-	-	48
沖縄県	18	0.53	14	0.41	104	10.40	56	5.60	-	-	3	0.43	16	2.29	-	-	6

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年36週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71	-	15	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年36週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第13巻 第36号 2011年9月26日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。